

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		安全で安全に暮らせるまち															
環境保全項目		さわやかな空気と静けさを確保する															
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
1-1	24	一般地域における騒音調査及び測定	騒音・振動・悪臭の防止	一般地域の測定地点による定期的な観測により、環境基準の類型ごとに達成率を算出し、監視します。(目標:平成23年度 100%)	一般環境について、市内11地点の騒音を調査測定し、騒音の状況を調査する。	測定地点11地点を秋以降に実施する。	◎	今年度は2月に行う予定。	調査地点11 環境基準達成率(昼間)100% 環境基準達成率(夜間)81.8%	調査地点11 環境基準達成率(昼間)100% 環境基準達成率(夜間)81.8%	定期的な観測による騒音防止の観測	定期的な観測による騒音防止の観測	◎	平成24年3月に測定を実施した。			生活環境課
1-1	25	道路交通騒音調査及び測定	騒音・振動・悪臭の防止	道路に面する地域の測定地点による定期的な観測により、平成17年度導入した面的評価システムを用いて、個々の住宅すべての騒音推定値により環境基準達成度を算出し、監視します。(平成23年度 100%)	継続実施している道路に面する地域の騒音調査を実施する。	100%実施	◎	下半期に契約事務を行い、調査・評価を行う。	測定地点数(新システム導入後)7	測定地点数(新システム導入後)7	定期的な観測による騒音防止の観測	定期的な観測による騒音防止の観測	◎	平成24年2月に測定を行い、評価を行った。			生活環境課
1-1	26	新幹線鉄道騒音調査及び測定	騒音・振動・悪臭の防止	新幹線鉄道の定期的な観測により、環境基準の達成について監視します。(100%定点基準達成)	新幹線鉄道の騒音・振動について調査、測定を実施。測定予定ヶ所2地点(下堀地区)	100%実施する。	◎	今年度は11月に実施する予定。	測定地点数2	測定地点数2	定期的な観測による騒音防止の観測	定期的な観測による騒音防止の観測	◎	平成23年12月2日に実施した。			生活環境課
1-1	60	市営駐車場の管理運営	環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	パークアンドライドを促進します。	快適に利用できる駐車場の管理運営	市営駐車場駐車台数 年320,000台	○	平成23年4月～9月までの実績(駐車台数)157,974台	市営駐車場駐車台数326,524台	市営駐車場駐車台数325,379台	市営駐車場駐車台数308,075台	年320,000台	○	平成23年4月～平成24年3月末までの実績(駐車台数)308,075台			管理課
1-1	74	循環バス運行施策	1 きれいな空気の確保 1 環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	15 公共交通機関であるバスの利用促進を図り、自家用車の使用を軽減させます。	「上田市循環バス」と「オレンジバス」の利用者が増加するよう施策を検討し、利用啓発活動を行う。	循環バス等利用者 目標60,000人	◎	乗降調査、ヒアリング調査等をもとに、上田市街地循環バス及びオレンジバスいずれも4月18日から運行ルートの一部見直しを行った。引き続き課題等の把握に努めるとともに、利用啓発活動を進めていく。	循環バス利用者23451人 オレンジバス利用者32872人 合計56323人	循環バス利用者26031人 オレンジバス利用者33666人 合計59697人	循環バス利用者26343人 オレンジバス利用者32114人 合計58457人	利用者増加のための施策の検討及び使用啓発活動	◎	循環バスについては、4月から本運行に移行し、国の補助を受けながら運行を継続してきた。一部運行ルートの見直しを行うとともに、6回の乗降調査等を実施し、運行の実態の把握に努めるとともに、さらに利便性の向上を目指して取り組んでいく。	利用実態調査等を通じて引き続き運行実態の把握に努めるとともに、さらに利便性の向上を目指して取り組んでいく。	循環バスについては、ヒアリング調査により、意見を集約している。・オレンジバスについては、市民から感謝の意見が寄せられている。	地域交通政策課

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		安全で安全に暮らせるまち															
環境保全項目		きれいな水と安全な土壌を確保する															
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
1-2	22	地下水水質調査及び検査(硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の監視)	土壌・地下水の保全	定期的な調査により、地下水質の環境基準の達成について監視します。	市内の地下水(井戸水)について、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素を含む水質検査を実施する。	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の基準値達成。	○	下半期に契約事務を行い、検査をする。	調査地点 12 環境基準達成率 83.3%	調査地点 12 環境基準達成率 75.0%	水質監査による水質の監視	水質監査による水質の監視	◎	平成24年3月22日に採水を行い検査を実施した。			生活環境課
1-2	30	合併処理浄化槽設置整備事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道・農業集落排水の整備区域外において、合併処理浄化槽の設置を促進します。	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での新設7基	◎	9月末時点での実績は、上田(非豪雪):1基(5人槽)、丸子:1基(5人槽)、真田:5基(5人槽)、3基、7人槽:1基、20人槽:1基)、武石:5人槽1基で上田市全体で8基でした。	設置基数 7 設置累計基数 1414	設置基数 6 設置累計基数 1420	設置基数 7 設置累計基数 1427	新設7基	◎	平成23年度実績は、上田:6基(5人槽:1基、7人槽:4基、10人槽:1基)、丸子:2基(5人槽:2基)、真田7基(5人槽:4基、7人槽:1基、10人槽:1基、20人槽:1基)、武石:1基(5人槽:1基)の計16基で、補助額実績は7,199,000円です。			生活環境課
1-2	79	下水道の普及促進	きれいな水の確保	公共下水道事業、農業集落排水事業等を推進します	・取付管立会い時の啓発(随時) ・戸別訪問の実施(随時) ・水洗化促進懸垂幕・のぼり旗・ポケットティッシュ等水洗化啓発掲示物の作成と活用 ・下水道未接続者に対する啓発文書発送	水洗化率 ・平成23年度末の下水道水洗化(利用率)率を86.2%に向上させる。 確認申請件数 ・700件を目標とする。	△	・戸別訪問については、苦情対応の訪問にとどまり、計画的には進んでいない。 ・上半期水洗化促進懸垂幕・のぼり旗・ポケットティッシュ等の発注ができなかった。 ・確認申請件数は、8月末時点で525件と目標の75%に達した。	下水道普及率 84.0% 確認申請件数 1255件	下水道普及率 85.6% 確認申請件数 1043件	下水道普及率 86.2% 確認申請件数 1024件	水洗化率 86.2% 確認申請件数 700件	○	・水洗化(利用率)については、目標86.2%に対し87.0%と目標を達成することができた。 ・確認申請件数についても、目標700件に対して1,024件と目標を達成することができた。 ・のぼり旗等水洗化啓発グッズについては、効果が期待できないため取りやめた。 ・戸別訪問については人員削減のため計画できなかった。	・戸別訪問、水洗化啓発等実施しても効果が上がらない現状があり、更なる有効な水洗化促進策の検討が課題である。		サービス課
1-2	80	漏水調査	水資源の有効活用	有収率の向上	漏水調査 戸別音聴調査箇所25,000箇所	漏水箇所数及び推定漏水量	◎		漏水箇所 48 漏水量 207533m ³	漏水箇所 67 漏水量 105094m ³	漏水調査件数 10,671件 漏水箇所 39箇所 推定漏水量 77,708m ³	有収率の向上	○	菅平、武石地区の漏水量が急増し、上田地区の予算を流用した。このため上田地区の漏水調査を10,000戸に変更した。 1月末までに千曲川左岸地域にて10,671戸の漏水調査を完了。 39箇所(推定漏水量77,708m ³)の漏水を発見、修理を3月末までに完了した。			上水道課
1-2	81	鉛給水管布設替え	安心安全な水道	鉛給水管の解消	鉛給水管布設替 計画修繕対応 400件 故障修繕対応 180件 水道本管工事対応 20件 計 600件	布設替件数	◎		敷設替件数 1038件 残存件数 3145件	敷設替件数 568件 残存件数 2577件	敷設替件数 544件 残存件数 2033件	鉛給水管の解消	○	鉛給水管布設替 計画修繕対応 445件 故障修繕対応 90件 水道本管工事対応 9件 計 544件			上水道課
1-2	82	公共下水道事業、農業集落排水事業	きれいな水と安全な土壌を確保	公共下水道事業、農業集落排水事業を推進する	○管渠の整備 L=6.8km ○処理場の整備 南部終末処理場 増設(汚泥処理施設) 上田終末処理場 改築(汚泥処理施設)	普及率 平成23年度末目標74.2%(上田地域97.9%)	○	○広報(6月) ○ホタルマップ公表・発行(9月) ○管渠整備 L=0.2km(工事発注) ○処理場の整備 南部終末処理場 増設(工事委託協定) 上田終末処理場 改築(工事委託未協定)	普及率(全域) 73.3% 普及率(上田地域) 97.0%	普及率(全域) 73.8% 普及率(上田地域) 97.4%	普及率(全域) 74.0% 普及率(上田地域) 97.6%	公共下水道事業、農業集落排水事業の推進	○	・ホタルマップ関連は予定通り達成。 ・管きよ整備はL=5.6km完成し1.4km発注済(繰越)で、普及率は97.6%になりほぼ目標を達成した。 ・処理場整備も予定どおり実施した。			下水道課

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		安全で安全に暮らせるまち															
環境保全項目		きれいな水と安全な土壌を確保する															
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
1-2	83	浄水場運転管理	安心、安全な水道水の提供	環境に配慮した浄水場管理	①浄水場、施設における消毒剤の適正な注入 ②需要量に見合った適正な取水量管理 ③浄水場泥土の適正な処理処分委託 ④河川水質検査の実施	①浄水場元出し水 通常0.8mg/l以下 末端給水栓水 通常0.1mg/l以上 ②配水量の120%程度 ③全泥土量の5割程度を処理処分委託 ④検査回数	◎	①概ね達成 元出し最大 染屋 0.66mg/l (7/5) 石舟 0.82mg/l (9/5) 末端 0.1mg/l 以上保持 ②概ね達成 123% ③概ね達成 処分量約670m ³ 中約610m ³ 委託 (約91%) ④達成 月1回実施中	環境に配慮した浄水場管理	環境に配慮した浄水場管理	環境に配慮した浄水場管理	環境に配慮した浄水場管理	○	①達成 元出し最大 染屋 0.65mg/l (10/6) 石舟 0.81mg/l (10/6) 末端 0.1mg/l 以上保持 ②達成 下半年平均 117% 年間平均 120% ③概ね達成下半年処分量約405m ³ 中約283m ³ 委託(約70%) 年間処分量 約1061m ³ 中約627m ³ 委託(約59%) ④達成 月1回実施			浄水管理センター
1-2	84	浄水場運転管理	安心、安全な水道水の提供	環境に配慮した浄水場管理	①浄水場、施設における消毒剤の適正な注入 ②河川水質検査の実施	①浄水場元出し水 通常0.8mg/l以下 末端給水栓水 通常0.1mg/l以上 ②検査回数	◎	①概ね達成 元出し最大 腰越浄水場 8/16 0.78 鹿教湯浄水場 8/4 0.74 末端0.1以上 OK ②概ね達成 2回実施済み	環境に配慮した浄水場管理	環境に配慮した浄水場管理	環境に配慮した浄水場管理	環境に配慮した浄水場管理	◎	①概ね達成 元出し最大 腰越浄水場 10/13 0.69 鹿教湯浄水場 1/13 0.77 末端0.1以上 OK ②概ね達成 2回実施済み			浄水管理センター・丸子管理係

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		安全で安全に暮らせるまち															
環境保全項目		有害化学物質による汚染を未然に防止する															
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
1-3	23	地下水水質調査及び検査 (低沸点有機化学物質の監視)	有害化学物質による汚染の防止	地下水質の低沸点有機化学物質の環境基準の達成について監視します。	市内13地点の地下水(井戸水)について、年一回低沸点有機塩素系化学物質(トリクロエチレン、テトラクロレン、1,1,1-トリクロエチン)を含む項目を調査。	低沸点有機塩素系化学物質(トリクロエチレン、テトラクロレン、1,1,1-トリクロエチン)の環境基準値の達成。	○	下半期に契約事務を行い、検査をする。	調査地点 12 3物質の環境基準達成率 100%	調査地点 12 3物質の環境基準達成率 100%	水質監査による水質の監視	水質監査による水質の監視	◎	平成24年3月22日に採水を行い、検査をした。			生活環境課
1-3	27	ダイオキシン類の環境汚染調査	有害化学物質による汚染の防止	大気、河川、土壌などにおいて、ダイオキシン類汚染状況を調査・測定し、その結果を公表するとともに、有害物質に関する情報を提供します。	年一回、一般環境大気4ヶ所、河川4ヶ所、土壌3ヶ所等について調査。	環境基準値達成。	○	下半期に契約事務を行い、調査する。	大気 5地点 河川 3地点 土壌 4地点	大気 5地点 河川 3地点 土壌 2地点	調査、測定による有害部室汚染の監視	調査、測定による有害部室汚染の監視	◎	平成24年3月に調査を実施した。			生活環境課

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		自然・いきもの・人が共生するまち															
環境保全項目		森や里山を守り・親しむ															
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
2-1	57	造林事業	森林の育成・保全	県の森林税等を利用して私有林150haの間伐を推進し、健全な森林を育成する。	①私有林間伐150haの実施	①間伐の実施面積	◎	現在、市内全域の20団地、面積約293haについて山林所有者の同意を得る作業等を行っており、このうち5団地の132haについて施業に着手しました。	間伐面積 126ha	間伐面積 266ha	間伐面積 316ha	私有林間伐 150haの実施	◎	今年度は、市内18地区の316haにおいて事業を実施しました。	次年度においても、健全な森林育成・保全のため、引き続き、手入れが行届かない森林を中心に間伐を促進します。		森林整備課
2-1	58	松くい虫防除対策事業	松くい虫被害を防除し、健全な松林を育てる	被害木伐倒薬剤処理 V=8,000m ³	①被害木8,000m ³ の伐倒薬剤処理	①被害木の処理量	◎	春駆除においては、主に県の補助事業を活用して被害木1,938m ³ を伐倒処理し、被害の拡大防止に努めています。当該事業は、国の補助金を受けて下半期を中心に実施する予定です。	処理量 8310m ³	処理量 8950m ³	処理量 8744m ³	被害木8,000m ³ の伐倒薬剤処理	◎	松くい虫被害の防除対策として、市内全域において、V=8,744m ³ の被害木の伐倒駆除を実施しました。 (国補事業…V=6,416m ³ 県補事業…V=1,901m ³ 市単事業V=427m ³)	空中散布中止区域での松くい虫被害の拡大防止に努めるとともに、引き続き被害木の伐倒処理等を迅速に行う。		森林整備課

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		自然・いきもの・人が共生するまち															
環境保全項目		水辺環境を守り・親しむ															
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
2-2	21	河川水質調査及び検査	きれいな水の確保	定期的な調査により、河川水質の環境基準の達成について監視します。	市内河川の調査地点について、河川の状態を把握するため水質調査を実施する。この結果は、環境レポート等で公表していく。	毎月市内16地点の検査を実施し、年2・4回調査する地点も含め計35地点の検査により水質監視する。	◎	河川水質検査について、上半期分は毎月実施済。	上田地域88.4% (10河川15地点) 丸子地域96.9% (3河川4地点) 真田地域100% (9河川10地点) 武石地域100% (6河川6地点)	上田地域91.8% (10河川15地点) 丸子地域100% (3河川4地点) 真田地域100% (9河川10地点) 武石地域100% (6河川6地点)	水質監査による水質の監視	水質監査による水質の監視	◎	計35地点、全252検体について調査及び検査を終了した。			生活環境課
2-2	33	河川清掃計画・実施	うるおいやゆとりある都市空間の形成	地域美化活動を推進します。	河川清掃 年2回	・矢出沢川・蛭沢川等の主要河川の清掃実施(春・秋2回) ・下排水路の清掃実施(春・秋2回)	◎	矢出沢川災害復旧工事のため、5/8、5/15矢出沢川の河川清掃は中止となりましたが、蛭沢川・西小前排水路・黄金沢川の清掃は春、秋共に予定通り実施しました。10/23矢出沢川河川清掃は当初予定通り実施する予定です。	春 1回 秋 1回	春 1回 秋 1回	春 1回 秋 1回	河川清掃 年2回	◎	予定通り終了しました。			生活環境課
2-2	34	河川愛護活動	自然の保全・活用	河川環境の保全活動を推進します。	河川愛護活動の実施	河川活動をした団体数 52団体	◎		活動実施団体数 上田 53 丸子 23 真田 10 武石 2	活動実施団体数 上田 54 丸子 23 真田 10 武石 2	活動実施団体数 上田 52 丸子 24 真田 10 武石 2	河川環境の保全活動の推進	◎	予定通り終了しました。			生活環境課
2-2	59	① 多自然型水路整備 ② 農地・水・環境保全向上対策への支援	1 自然・生き物・人が共生するまち 5 環境を思いやる人があふれるまち	① 農業用水路において、環境に配慮した工法を推進します。 ② 非農業者も加えた地域の協働による、農業施設や環境の維持保全活動を支援します。	① 多自然型水路を1ヶ所整備する。 ② 13組織を支援する。	① 多自然型水路を1ヶ所整備する。 ② 地域住民全体で環境意識を共有する。	◎		地域協働による、農業施設や環境の維持保全活動の支援	地域協働による、農業施設や環境の維持保全活動の支援	地域協働による、農業施設や環境の維持保全活動の支援	地域協働による、農業施設や環境の維持保全活動の支援	◎				土地改良課

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		自然・いきもの・人が共生するまち															
環境保全項目		農環境を守り・親しむ															
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
2-3	55	担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。(数値目標 平成22年度 80ha)	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 22年度末 242ha →23年度目標 80ha	◎		農用地流動化促進奨励金対象面積 107ha	農用地流動化促進奨励金対象面積 242ha ※大規模な権利設定あり	農用地流動化促進奨励金対象面積 160ha	80ha	◎	関係機関と連携し、農地の流動化(農地の貸借)を促進した結果、農地貸借期間満了に伴う更新、新規の貸借が増加した。目標面積を越える160haとなった。			農政課
2-3	56	稲倉棚田の保全	棚田の保全と活用	棚田の景観を保全します。(荒廃した棚田の有効活用)	①田植体験の受け入れ 2校 ②棚田オーナーの取組 27組受入 ③ほたる火まつりの実施 ④堰免の荒廃農地の復旧と有効活用	①田植体験の受け入れ ②棚田オーナーの取組 ③堰免の荒廃農地の復旧と有効活用	◎		棚田面積 25.0ha 棚田オーナー数 27組 田植え体験校数 2校	棚田面積 25.0ha 棚田オーナー数 35組 田植え体験校数 2校	棚田面積 25.0ha 棚田オーナー数 35組 田植え体験校数 2校	荒廃した棚田の有効活用	◎	・埼玉県の大宮北高校(320人)、千葉県 の流山市東部中学校(170人)の2校 を受入れ田植え体験を実施 ・首都圏を中心に棚田オーナー35組を 受入 ・7月23日(土)ほたる火祭りを実施、 約500人来場 ・案山子まつりの実施(約50体) ・大宮北高校、オーナー等の稲刈り体 験等の実施(10月1日を中心に)			農政課
2-3	117	遊休荒廃農地の解消等による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る(数値目標 平成23年度 遊休荒廃農地解消面積 5ha)	遊休荒廃農地の解消(遊休荒廃農地解消対策委員会、地区審単位での解消)	補助事業等による遊休荒廃農地解消 目標面積 22年度末5ha/年 ⇒23年度目標約5ha/年(行政と連携して解消)	◎	9月から10月にかけて、農地利用状況調査を実施中であり、11月中旬に調査表が提出される。	遊休荒廃農地解消面積 10ha	遊休荒廃農地解消面積 5.3ha	遊休荒廃農地解消面積 10.2ha	遊休荒廃農地解消面積 5ha	◎	9月～11月に、全農業委員により各担当地区内の農地について、前年度の農地利用状況調査結果に基づいた解消状況及び新規発生状況等について、JA、活性化委員会等の協力員と連携し調査を実施。 3月末に遊休農地所有者に意向調査を実施。 今年度の解消面積は、農業委員により1.2haを解消し、市により9.0haを解消した。	意向調査結果を基に解消に向けた具体的な取り組み方法等を検討する。		農業委員会事務局

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち																
環境保全項目		循環型社会の形成に努める																
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課	
									H21	H22	H23							
3-1	43	ごみ減量・再資源化対策事業①	循環型社会の形成に努める	廃棄物を減量し、リサイクルを推進します	1 剪定枝木類の資源化 2 ごみ減量化機器等購入費補助金 3 焼却灰のリサイクル 4 生ごみ堆肥化モデル事業	・可燃ごみの減量目標 前年度比△500トン/年(△1.5%) ・資源化率20%以上	◎	1 剪定枝木類の資源化実績(9月末現在) 265トン 2 ごみ減量化機器等購入費補助金の交付 実績(9月末現在) ・ごみ減量化機器 98件 103台 ・ごみ減量化基材 371件 632袋 3 焼却灰リサイクル実績(9月末現在) 284トン 4 着手に向けて関係機関と協議した	可燃ごみ処理量 34280t 前年度増減 △2291t 前年度比 -6.3%	可燃ごみ処理量 34853t 前年度増減 573t 前年度比 1.7%	可燃ごみ処理量 35401t 前年度増減 548t 前年度比 1.6%	・可燃ごみの減量目標 前年度比△500トン/年(△1.5%) ・資源化率20%以上	○	1 剪定枝木類の資源化実績 年間 454トン(下半期 189トン) 2 ごみ減量化機器等購入費補助金の交付 実績(23年度) ・ごみ減量化機器 190件 207台 ・ごみ減量化基材 598件 1,006袋 3 焼却灰リサイクル実績 年間 600トン(下半期 316トン) ・資源化率は22.4%で目標を達成することができた。 4 モデル事業に着手した	可燃ごみの処理量が前年度より548トン(1.6%)増加し、減量目標を達成することができなかった。次年度は減量化のための取り組みをさらに進める必要がある。			廃棄物対策課
3-1	44	ごみ減量・再資源化対策事業②	循環型社会の形成に努める	ごみ減量・リサイクル活動の普及啓発を推進します	1 市民への周知、啓発 2 講座等の開催 3 市民、事業者の環境保全活動の支援	・可燃ごみの減量目標 前年度比△500トン/年(△1.5%) ・資源化率20%以上	◎	・市民への周知・啓発・講座開催 随時実施 ・エコストアの認定 新規認定なし ・環境上田の発行・回覧 7月1日号発行 9,300枚 全戸へ回覧 ・子どもゴミ探検隊 8/2実施 参加者 13人 ○ 出前講座の開催 2回(4/4、4/7)	資源化率 23.1%	資源化率 22.6%	資源化率 22.4%	・可燃ごみの減量目標 前年度比△500トン/年(△1.5%) ・資源化率20%以上	○	啓発活動 随時実施 エコハウスわくわく講座の開催 実施回数 19回、参加者数 延べ107人 エコストアの新規認定なし 環境うえだの発行 10/1号、2/16号(各9,300枚) 資源物回収カレンダー 12/1付で全戸配布 エコ講座 2/3、2/10、2/17、2/24開催 参加者数 101人 ○ 出前講座の開催 1回(11/8) ※ その他様々な機会を捉えて啓発を行った。				廃棄物対策課
3-1	46		印刷物・コピー用紙ノ削減による環境配慮	印刷物・コピー用紙ノ削減		23年度コピー枚数 180000枚	◎		176710枚	156928枚	182243枚	180000枚	△	制度の変更や制度拡大に伴いコピーが増大した。				福祉課
3-1	73	樹木の剪定等	廃棄物の減量と資源再利用の促進	剪定された樹木等のリサイクル化を図る。	剪定樹木の有効利用 ①チップリサイクル化の推進 ②燃料としての使用	有効利用95% ①剪定木をチップリサイクル化 ②剪定木を燃料としての使用	◎	剪定木や間伐樹木をチップとして再利用を図っているが、前年度に比べ災害の影響も無く、今後の剪定木は少ないため、チップ稼働率の減少が見込まれる。(4月1500kg 5月0kg 6月2750kg 7月5500kg 8月1750kg 9月0kg 総てチップ化)	チップリサイクル化 81% 燃料として有効使用 13% 焼却処分 6% 合計 100%	チップリサイクル化 100%	チップリサイクル化 100%	有効利用95% ①剪定木をチップリサイクル化 ②剪定木を燃料としての使用	◎	都市公園、児童公園等より出た剪定木の回収を行い、チップ化により堆肥化し、花壇に加えた。また、公園内の遊歩道に敷き詰め利用した。(10月 0kg、11月 750kg、12月 1,250kg、1月 0kg、2月 1,750kg、3月 1,500kg)総てチップ化	再生資源材の仮置き場の確保			公園緑地課

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち															
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する															
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
3-2	1	実施計画・総合計画の策定	循環型社会形成の形成に努める、地球温暖化防止活動を推進する、地域資源を有効活用する	環境配慮項目の導入、環境配慮事業の優先実施に向けて仕組みづくりを進める。	1 庁内協議 2 査定 3 公表	◆環境配慮事業数 1 ◆資料提出部数 5部(その他必要分は両面コピー) ◆査定資料印刷枚数 対前年10%程度削減	◎	・コピー枚数は9月末現在77,926枚で年間配当枚数163,000枚の47.8%の使用率であり、50%を下回っている状況である。	市長査定資料印刷枚数 210ページ(×20部)	市長査定資料印刷枚数 200ページ(×20部)※前年度比5%減	市長査定資料印刷枚数 190ページ(×20部)※前年度比5%減	◆環境配慮事業数 1 ◆資料提出部数 5部(その他必要分は両面コピー) ◆査定資料印刷枚数 対前年10%程度削減	◎	・コピー枚数については、当初はH22と同様の83,000枚の配当であったが、総合計画後期基本計画策定に伴う資料作成追加のため、新たに目標を163,000枚以内と再設定する中で、コピー枚数の削減を図ってきた。 ・コピー枚数は3月末現在107,967枚で年間配当枚数163,000枚の66.2%の使用率となり、目標を達成することができた。	・総合計画策定業務が終了したため、コピー枚数をH22レベルの76,000枚を目標として設定し、削減に努める必要がある。		政策企画課
3-2	3	交流・文化施設整備事業	環境にやさしい施設づくり	環境負荷の少ない施設となる構造、設備、運営管理方法の検討	・整備用地の取得 ・基本設計 ・実施設計 ・運営管理計画策定に向けた検討	・基本設計で環境配慮度の充実 ・実施設計で具体的に設計に盛り込む	◎	4月から6月:環境に十分配慮した設計が行われ6月末には基本設計が終了した。 7月から9月:実施設計を開始。		平成22年11月基本設計業務委託契約 平成23年1月 運営管理計画検討委員会設置			◎	10月 実施設計の実施 1月 設計図完成 積算開始 3月 計画通知提出 実施設計完了(環境に配慮した項目を具体的に実施設計に盛り込んだ) (運営管理計画策定に向けた検討は継続して行っている)			交流・文化施設建設準備室
3-2	4	産院移転新築工事の諸調整、進行管理	環境にやさしい施設整備	環境負荷の少ない施設建設	・産院建設工事に係る諸調整	・工事終了時での環境配慮策の充実度	◎	建設工事は予定どおり進捗しており、併せて諸調整も課題はあるがほぼ順調に進んでいる。	・太陽光発電装置の設置 ・各照明のLED使用 ・GHP、EHPIによる冷暖房			・工事終了時での環境配慮策の充実度	◎	建設工事は予定どおり完了した。			産院建設準備室
3-2	5	農村環境改善センターの維持管理	施設利用者の安全と電気・水道・暖房等の使用量の抑制を図る	エコオフィスうえだに基づき、地球環境の保全に取り組む	①事務室内温度、冬20℃・夏28℃に設定 ②センター利用者へのエコオフィスのPR ③水曜日の資源回収時の指導 ④コピー用紙の両面使用の推進	電気使用量53,000KWh、水道使用量400㎡、A重油使用量7,000ℓ、灯油使用量2,000ℓ、LPG使用量50㎡、コピー使用量30,000枚、可燃ごみ排出量150kg	◎	電気保安管理業務の定期点検、定期的な資源回収並びに消防設備等点検を計画どおり実施した。 また電気使用量削減のため、冷房温度を29℃に設定、トイレの便座暖房を切、電気ポット2台の使用をやめ、やかんで湯を沸かし、保温ポットに切り替え節電に努めた。	電気使用量 50,090KWh、水道使用量 329㎡、A重油使用量7,000ℓ、灯油使用量 1,457ℓ、LPG使用量50㎡、コピー使用量 27,625枚、可燃ごみ排出量 150kg	電気使用量 52,549KWh、水道使用量323㎡、A重油使用量6,350ℓ、灯油使用量 1,513ℓ、LPG使用量46㎡、コピー使用量25,622枚、可燃ごみ排出量50kg	①コピー用紙使用量 22,734枚 ②電気使用量 47,273kW ③灯油使用量 1,421ℓ ④A重油 6,300ℓ ⑤水道使用量 302㎡ ⑥LPGガス使用量 55㎡ ⑦可燃ごみ排出量 90kg	電気使用量 53,000KWh、水道使用量400㎡、A重油使用量7,000ℓ、灯油使用量 2,000ℓ、LPG使用量50㎡、コピー使用量30,000枚、可燃ごみ排出量150kg	○	①コピー用紙使用量 22,734枚 ②電気使用量 47,273kW ③灯油使用量 1,421ℓ ④A重油 6,300ℓ ⑤水道使用量 302㎡ ⑥LPGガス使用量 55㎡ ⑦可燃ごみ排出量 90kg	現状の節約管理を今後も継続していく。		豊殿地域自治センター
3-2	7	塩田地区有線放送所の局舎解体、及び外部線路設備撤去工事に係る諸調整	環境にやさしい撤去工事を推進する	環境負荷の少ない、地球環境に配慮した撤去工事	塩田地区有線放送所の局舎等解体、及び外部線路設備撤去工事に係る諸調整		△	塩田地区有線放送所の外部線路設備撤去工事の発注が遅れている。	-	-	塩田地区有線放送所の局舎等解体、及び外部線路設備撤去工事に係る諸調整	環境負荷の少ない、地球環境に配慮した撤去工事	△	塩田地区有線放送所の放送局舎等解体工事、及び外部線路設備撤去工事を次年度へ繰り越した。			塩田地域自治センター
3-2	9	職員の管理に関すること	エコオフィスの推進	ノー残業デー、19(育児)の日、クールビズの普及促進によるエコオフィスの推進	・ノー残業デー(水曜日) ・19(育児)の日(毎月19日) ・クールビズ(5月20日～10月31日)	・実施状況の把握	◎	・ノー残業デー(水曜日)、19(育児)の日(毎月19日)の掲示による周知 ・クールビズ(5月20日～10月31日)実施中	・クールビズは、平成17年度から実施 ・ノー残業デーは、平成19年1月から実施 ・19(育児)の日は、平成19年1月から導入			・実施状況の把握	◎	・ノー残業デー(水曜日)、19(育児)の日(毎月19日)の掲示による周知 ・クールビズ(5月20日～10月31日)実施			人材開発課
3-2	10		コピー用紙の削減による環境配慮	本庁及び教育委員会のコピー用紙の削減		平成23年度 9,000,000枚	◎	・平成23年度上半期コピー用紙購入枚数 3,815,500枚(前年比△129,000枚) ・5月11日 文書担当者会議にて啓発 ・10月上旬 庁内LAN掲示板上にて啓発	8,740,000枚	7,844,000枚	7,768,500枚	9,000,000枚	◎	・平成23年度下半期コピー用紙購入枚数 3,953,000枚 ・平成23年度コピー用紙購入枚数 7,768,500枚(前年比△115,500枚)	・コピー用紙購入枚数は、前年度を下回り、目標を達成できたが、引き続き文書担当者会議、庁内LANなどで節減について周知を図る。		行政管理課

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち																																																																																
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する																																																																																
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課																																																																	
									H21	H22	H23																																																																							
3-2	13	電子申請の利用拡大	エコオフィスの推進	市民からの申請業務及び内部業務での利用拡大	各課業務調査の実施及び啓発	電子申請業務数 27業務	◎	7月末までの申請件数は980件(月平均245件、上半期想定1,470件)となっている。昨年度の半期分に比して5.9%の増加となっており、申請件数は増加傾向にある。利用の促進は順調に推移していると見込まれる。	20業務 3428件	22業務 2628件	集計中	電子申請業務数 27業務	△	11月末までの申請件数は1440件(月平均180件)となっている。年度末の実績報告は新年度に行われるため、現在把握できるのは8か月間の実績であり、年度末見込みは2,160件である。年度末までに申請件数は増加していることが見込まれる。			情報推進課																																																																	
3-2	16	予算編成	①望ましい環境像の実現を支える行財政運営 ②エコオフィスの推進	環境に配慮しつつ、効率的な行政経営を目指した予算編成	①選択と集中による効率的・効果的な行政経営を目指した予算編成 ②環境基本計画(望ましい環境像)の実現に向けた施策への予算配分 ③予算編成事務の効率化	①効率的・効果的な行政経営 ②環境基本計画(望ましい環境像)の実現に向けた施策実施 ③持続的で安定的な財政基盤の確立 ④予算編成事務量の削減	◎	○不要電灯の消灯の徹底、資源の有効利用 ○平成23年度における環境施策(予算額) ・新エネルギー活用施設設置費補助金(66,000千円) ・環境保全型防犯灯(LED)設置補助金(56,200千円) ・太陽光発電施設設置 ・川西地域自治センター(21,000千円) ・城南公民館(20,500千円) ・丸子図書館(20,800千円)等	予算編成	予算編成 予算配分	予算編成 予算配分 事務の効率化	○	①選択と集中による効率的・効果的な行政経営を目指した予算編成 ②環境基本計画(望ましい環境像)の実現に向けた施策への予算配分 ③予算編成事務の効率化 ○不要電灯の消灯の徹底、資源の有効利用 ○平成23年度における環境施策(予算額) ・新エネルギー活用施設設置費補助金(66,000千円) ・環境保全型防犯灯(LED)設置補助金(56,200千円) ・太陽光発電施設設置 ・川西地域自治センター(21,000千円) ・城南公民館(20,500千円) ・丸子図書館(20,800千円)等			財政課																																																																		
3-2	17	庁舎管理	地球温暖化対策	地球を守る	・電気量の削減 ・燃料使用量の削減 ・コピーの使用枚数の削減	・前年度の使用量より削減	◎	上半期の使用量の比較 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>差引(23-22)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガソリン</td> <td>36,997</td> <td>36,852</td> <td>-145</td> </tr> <tr> <td>灯油</td> <td>728</td> <td>819</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>軽油</td> <td>7,618</td> <td>6,970</td> <td>-648</td> </tr> <tr> <td>A重油</td> <td>21,000</td> <td>12,000</td> <td>-9,000</td> </tr> <tr> <td>都市ガス</td> <td>13,300</td> <td>11,195</td> <td>-2,105</td> </tr> <tr> <td>電気</td> <td>759,504</td> <td>752,839</td> <td>-6,665</td> </tr> <tr> <td>コピー</td> <td>13,616</td> <td>10,416</td> <td>-3,200</td> </tr> </tbody> </table>		22年度	23年度	差引(23-22)	ガソリン	36,997	36,852	-145	灯油	728	819	91	軽油	7,618	6,970	-648	A重油	21,000	12,000	-9,000	都市ガス	13,300	11,195	-2,105	電気	759,504	752,839	-6,665	コピー	13,616	10,416	-3,200	エネルギー使用量の削減	エネルギー使用量の削減	エネルギー使用量の削減	エネルギー使用量の削減	○	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>差引(23-22)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガソリン</td> <td>68,761</td> <td>66,662</td> <td>-2,099</td> </tr> <tr> <td>灯油</td> <td>3,764</td> <td>3,506</td> <td>-258</td> </tr> <tr> <td>軽油</td> <td>14,472</td> <td>13,616</td> <td>-856</td> </tr> <tr> <td>A重油</td> <td>56,000</td> <td>53,000</td> <td>-3,000</td> </tr> <tr> <td>都市ガス</td> <td>36,337</td> <td>43,200</td> <td>6,863</td> </tr> <tr> <td>電気</td> <td>1,511,872</td> <td>1,508,921</td> <td>-2,951</td> </tr> <tr> <td>コピー</td> <td>24,764</td> <td>20,581</td> <td>-4,183</td> </tr> </tbody> </table>		22年度	23年度	差引(23-22)	ガソリン	68,761	66,662	-2,099	灯油	3,764	3,506	-258	軽油	14,472	13,616	-856	A重油	56,000	53,000	-3,000	都市ガス	36,337	43,200	6,863	電気	1,511,872	1,508,921	-2,951	コピー	24,764	20,581	-4,183	・冷暖房装置の設定温度の更なる徹底を図るとともに、蛍光灯等不用な電気の使用は避けるよう周知する。			公有財産管理課
	22年度	23年度	差引(23-22)																																																																															
ガソリン	36,997	36,852	-145																																																																															
灯油	728	819	91																																																																															
軽油	7,618	6,970	-648																																																																															
A重油	21,000	12,000	-9,000																																																																															
都市ガス	13,300	11,195	-2,105																																																																															
電気	759,504	752,839	-6,665																																																																															
コピー	13,616	10,416	-3,200																																																																															
	22年度	23年度	差引(23-22)																																																																															
ガソリン	68,761	66,662	-2,099																																																																															
灯油	3,764	3,506	-258																																																																															
軽油	14,472	13,616	-856																																																																															
A重油	56,000	53,000	-3,000																																																																															
都市ガス	36,337	43,200	6,863																																																																															
電気	1,511,872	1,508,921	-2,951																																																																															
コピー	24,764	20,581	-4,183																																																																															
3-2	18	税務業務の効率的運営	eLTAXサービスの拡充の取り組みとエコオフィスの推進	eLTAXサービスの拡充による業務の改善及び市民サービスの向上とエコオフィスの推進	利用事業主、税理士への通知の送付や広報うた、市のホームページ・行政チャンネル等を活用したeL-TAXの利用推進。	申告におけるeLTAXサービスの利用件数割合 法人市民税 20% 給与支払報告書 10% 償却資産 10%	◎	4月～9月のeLTAXサービスの利用件数 法人市民税 1,150件 給与支払報告書外 7件 償却資産 1件 国税連携 7,494件 電子申告の時期が1～3月に集中するため、各事業者への周知として利用推進のチラシ等の準備を進めている。	・eL-TAXによる 社会保険庁からの 年金報告データ の電子化	・eL-TAXサービスの開始(法人市民税、償却資産、給与支払報告書)	法人市民税 43.7% 給与支払報告書外 27.2% 償却資産 9.9%	eL-TAXの利用推進。 法人市民税 20% 給与支払報告書 10% 償却資産 10%	◎	eLTAXサービス2年目をむかえ、順調な伸びを示しており、事務の効率化が図られた。 4月～3月のeLTAXサービスの利用件数 利用率 法人市民税 2,225件 43.7% 給与支払報告書外 2,047件 27.2% 償却資産 584件 9.9% 国税連携 7,494件			税務課																																																																	
3-2	19	印刷物の見直し	印刷物の数量、印刷内容の見直しによる環境負荷の低減	印刷物の発注に当っては、常に仕様内容を検討する。	・各種印刷物の作成	・発注数量(概ね1年間の必要量を発注する) ・紙面の有効活用(利用者に分かりやすい紙面への工夫を図る)	◎	使用実績を確認し印刷数量を決めると共に、在庫を確認し、発注時期を決定した。	業務改善	業務改善	業務改善	業務改善	○	・在庫を確認し、適正な数量の発注に努めた。 ・余白の有効利用のため、担当課との協議を進めた。			市民課																																																																	
3-2	28	新エネルギー活用施設(太陽光発電・太陽熱利用施設)設置補助	エネルギーの有効利用	新エネルギー・省エネルギーに関する補助や情報提供を進めます。	新エネルギー活用施設に対する補助金交付	目標 250件(上田地域のみ)	◎	9月末時点での補助実績は、太陽光発電については申請件数318件、補助金額29,845,000円、太陽熱利用施設補助については申請件数2件、補助金額60,000円でした。	補助金交付件数 243件	補助金交付件数 446件	補助金交付件数 661件	補助金交付件数 250件	◎	平成23年度の補助実績は、太陽光発電については申請件数648件、補助金額61,987,000円、太陽熱利用施設補助については申請件数13件、補助金額390,000円でした。			生活環境課																																																																	

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち															
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する															
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
3-2	29	雨水貯留施設設置補助	水資源の保全	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進めます。	雨水貯留施設に対する補助の実施	補助金交付件数 25件	◎	9月末時点での補助実績は、25件、674,000円でした。	補助金交付件数 22件	補助金交付件数 32件	補助金交付件数 34件	補助金交付件数 25件	◎	平成23年度実績は、上田:24件、丸子:10件の計34件で補助額は917,000円です。			生活環境課
3-2	37	エコオフィスうだ(上田市役所地球温暖化防止実行計画)の推進	地球環境の保全・行政の率先行動	市役所庁舎内などの市の活動に伴う温室効果ガスの排出量抑制を推進します。	「第二次上田市役所地球温暖化防止実行計画」の推進を図る。	全庁舎の温室効果ガス総排出量	○	H21年度には停止していた下水道処理施設の修繕が終了し、H22年度より稼働。また、厳冬による暖房機器の使用が増加。以上のような理由により、H22年度の温室効果ガス排出量はH21年度より増加してしまった。3月に起きた東日本大震災による原発事故の影響から、全国で節電・省エネの取り組みがされている。上半期は、県から出された、「さわやか信州省エネ大作戦」に合わせ取組を行った。	24,343t- CO_2		集計中	温室効果ガスの排出量抑制	○	夏及び冬の節電対策を行うことにより、上田地域における電気使用量は前年度より削減することができた。今年度の温室効果ガス排出量は、現在集計中である。			生活環境課
3-2	39	アイドリングストップ運動	きれいな空気の確保	アイドリング・ストップ運動を推進します。	広報などによる啓発活動		◎	6月の環境月間の際、有線放送により市民に呼び掛けました。また、各所属に対し、公共施設等ヘチランの掲示等により市民へ呼び掛けを行う。などの協力を依頼しました。	掲示板掲載 1 有線放送 6	掲示板掲載 1 有線放送 6	掲示板掲載 2 有線放送 12 HP掲載 2	啓発活動	◎	12月の大気汚染防止推進月間及び地球温暖化防止月間に合わせ、HP及び有線放送により市民に呼び掛けました。また、各所属に対し、公共施設等ヘチランの掲示等により市民へ呼び掛けを行う。などの協力を依頼しました。			生活環境課
3-2	45	市営住宅の管理	①環境負荷の低減(口座振替の推進、入居者への環境啓発)	事務事業の効率化と環境啓発	①全入居者通知の機会(年2回)に口座振替利用の奨励と環境啓発文を掲載	口座振替率 90.00%以上	○	6月に送付した全入居者への通知に、「チャレンジ25」のロゴを刷り込み、環境啓発に努めた。口座振替率については、入居説明会の際に奨励を行った結果、新規入居者は100%となった。全体では、9月末現在で86.6%である。	口座振替率 88.5%	口座振替率 88.5%	口座振替率 87.0%	口座振替率 90.00%以上	○	6月と2月に全入居者に送付した通知に、環境啓発ロゴを刷り込み環境啓発に努めた。口座振替率については、入居説明会の際に奨励を行った結果、新規入居者は100%となった。全体では87.0%である。	収納率向上の観点から、口座振替から郵便振込の方法に変更せざるをえない者がでてきている。このような状況も考慮に入れ目標設定していくことが必要である。		住宅課
3-2	47	環境への負荷の低減に係る啓発事業	利用者への環境負荷低減活動の啓発	エコオフィスうだ推進活動のPRと啓発を兼ねた館内掲示	地球環境保護意識の高揚と同時に点字図書館のランニングコスト削減のため「上田市役所地球温暖化防止実行計画」に基づく環境負荷の低減活動のPRと協力を兼ねた啓発(館内掲示)を行う		◎	7月館内掲示	啓発活動	啓発活動	啓発活動	啓発活動	◎	7月館内掲示実施			点字図書館
3-2	49	国民健康保険、高齢者医療保険、国民年金の各事業全般にわたる事務事業	エコオフィスの徹底による環境への配慮	節電、コピー用紙、紙ごみの削減		23年度のコピー枚数目標 120,000枚(22年度実績値×97%)	◎		111,367枚	123,484枚	108,385枚	120,000枚(22年度実績値×97%)	◎	下半期は、例年以上に削減に努め目標値より大幅に削減することができた。H23 コピー枚数 108,385枚	年度の業務内容により増減はあるが、引続き環境負荷を考慮し、紙の削減に努める。		国保年金課
3-2	52	「新技術等開発事業」助成金	廃棄物の減量と資源再利用の促進 エネルギーの有効利用	環境にやさしい「新技術等の開発」を行った業者に対し応援します。	事業者への補助事業制度の周知を事業所訪問で行う。	事業所訪問で説明20件(制度の主旨・目的)	◎		事業所訪問による補助事業制度の周知	事業所訪問による補助事業制度の周知	事業所訪問による補助事業制度の周知	事業所訪問による補助事業制度の周知	○				商工課

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち															
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する															
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
3-2	53	池波正太郎真田太平記館の管理運営	①利用者への環境啓発 ②エコオフィスの推進(一人当りの電気・水道量等の削減)	電気等の節減と入館者数の増加(環境啓発とエコオフィスの推進)	①環境啓発に関するポスター等の掲示 ②入館者増加により、一人当りの光熱水費の抑制 ③光熱水費の節減(節電の徹底、施設内の適正な温度管理) ④来館者向け環境啓発の具体的取組み検討	①②入館者数年間3万人以上。一人当りの電気量5kwh以下。	◎	上半期現在入館者一人当たりの電気量が5.26kwhであり、指標としている5kwh以下を多少上回っているが、震災の影響により入館者数が前年度より大幅に下回っていることが原因である。夏場の猛暑により、電気使用に関しては厳しい状況であったが、館内消灯の徹底やコンセントの抜き差し等の徹底等により例年並以下の使用量に抑えている。	入館者数 33391人 電気総量 206951Kwh 入館者一人あたりの電気量 6.20Kwh	入館者数 32814人 電気総量 178028Kwh 入館者一人あたりの電気量 5.43Kwh	入館者数 27148人 電気総量 180559Kwh 入館者一人あたりの電気量 6.65Kwh	啓発活動 電気使用量の抑制 入館者一人あたりの電気量の抑制	○	・閉館後の消灯等節電、施設内の適正な温度管理等に取り組み、一定の成果が挙げられたが、今冬の厳冬の影響等もあり、年間の電気使用量は約1%増加となった。 ・震災により年間入館者数が減少した影響が大きく、入館者一人当たりの電気量は目標値を上回ってしまった。	・光熱水費の節減の徹底		池波正太郎真田太平記館
3-2	76	財務会計事務の改善	環境に配慮した事務事業の改善	財務会計事務の向上による紙使用量の削減を図る。	①例年実施する研修会の開催に加え新財務会計システム研修会も開催 ②適正帳票率の向上 ③支払伝票の削減	①適正帳票率・・・97.0% ②支払伝票件数・・・100,000件	◎	・新任担当者対象研修会 1回実施済(5/24) 参加者43名 ・財務会計事務担当者研修会3回実施済(7/28、29) 参加者79名	適正帳票率97.0% 支払審査件数 104,310件	適正帳票率97.1% 支払審査件数 106,064件	集計中	①適正帳票率・・・97.0% ②支払伝票件数・・・100,000件	◎	① 研修会開催実績 ・新システム導入研修会 5回 ・個別(出前)研修会 4回 ② 適正帳票率の結果 ・H23.5月調査 ... 6.0% ・H24.1月調査 ... 3.2% 2.8%の改善を達成			会計課
3-2	85	小中学校改築事業	地球温暖化防止活動の推進	環境にやさしい学校づくり(太陽光発電システムなどの導入検討)	傍陽小学校への太陽光発電システムの導入	太陽光発電システム(10Kwh)の設置	◎	当初の計画どおり設置工事を完了し、5月17日に引き渡しを受けた。	塩田中学校(20Kwh)	武石小学校(10Kwh)	傍陽小学校	環境にやさしい学校づくり(太陽光発電システムなどの導入検討)	◎	傍陽小学校改築事業にあわせて、太陽光発電システムを設置した。また、太陽光発電システムが導入されていない学校への導入について検討を行った。	これまでの実績等を検証しながら、小中学校の改築にあわせて、引き続きシステムの導入を検討する。		教育総務課
3-2	86	給食の調理及び配送	廃棄物排出量の抑制	環境にやさしい給食作りと配送業務(食品残渣の減少とBDF燃料の利用)	①おいしい給食づくり ②配送車にBDFを利用 ③地産地消(地元産農産物の使用) ④残菜量の削減	①指導委員会における意見集約 ②BDFの利用量 ③地元産農産物の使用量 ④残菜量の調査・減量指導、畜産飼料への活用	◎	①月1回の委員会で、食育・給食の献立と反省・食品残渣等について協議できた。 ②代替燃料(BDF)の利用により化石燃料の抑制を図っている。今年度は供給開始日が5月30日から遅かった。 ③食品残渣の量は毎月学校に報告し、現状認識を共有しながら減量に努めている。畜産飼料についても更に活用をしていく。	BDF 882ℓ 食品残渣 22621kg 畜産飼料 18399kg	BDF 1188ℓ 食品残渣 16235kg 畜産飼料 19091kg	BDF 864ℓ 食品残渣 10325kg 畜産飼料 18279kg	環境にやさしい給食作りと配送業務(食品残渣の減少とBDF燃料の利用)	○	①給食指導委員会で給食全般にわたり有意義な協議ができた。 ②代替燃料(BDF)は供給開始が遅れた分、使用量は減少した。 ③食品残渣の量は前期に引き続き、昨年度に比べても大幅な減量となった。畜産飼料については減量に努めながら活用をしていく。			第一学校給食センター
3-2	87	給食業務の環境への取り組み	食品廃棄物の抑制と再利用	環境にやさしく、安全で安心なおいしい給食づくり	①食品残渣減少の取り組み(残菜調査、学校訪問、児童・保護者へのPR) ②食品残渣の飼料としての利用 ③地元産農産物の使用 ④BDF燃料の使用量	①② 食品残渣の発生量 ③ 地元産農産物の使用量 ④ BDF燃料の使用量	◎	センターへの施設見学は6回(389名)・PTAの試食会は5回(104名)実施。学校への訪問は1.2年生を対象に5月～6月に実施する。毎月1回の給食指導委員会も開催されている。残渣量は猛暑の影響で多めだった。地元産野菜・BDF燃料は順調に進んでいる。	残菜量 39226kg BDF 882ℓ	残菜量 38153kg BDF 864ℓ	残菜量 36792kg BDF 720ℓ	環境にやさしく、安全で安心なおいしい給食づくり	○	高学年への学校訪問は回収業務も兼ねて実施したので、全校(13校)行くことができた。 残渣量は、インフル欠食が多数あり多目だったが、全体量をみると減っている。BDF燃料は秋口から供給量が減ってしまい、思うように伸びなかった。地元産物については、使用量が増加している			第二学校給食センター

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち															
環境保全項目		地域資源を有効利用する															
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
3-3	54	ホームページ、QRコードを使用した観光案内	地球環境の提言を考えた観光案内をします。	ホームページ、QRコードを積極的に使用した観光案内を行う。	パンフレット・ポスター全てにQRコードを入れる。	総合パンフレットには総合版、ダイジェスト版の2種類があり、その全てにQRコードを入れる。	◎	夏祭りポスターや紅葉まつりポスターにおいてQRコードを採用した。	地球環境の提言を考えた観光案内	地球環境の提言を考えた観光案内	地球環境の提言を考えた観光案内	地球環境の提言を考えた観光案内	○	2012上田城千本桜まつりポスターや新たに作成したパンフレットにQRコードを採用した。	スマートフォンに対応したアプリの活用等の研究が必要。		観光課
3-3	75	施設建設事業	資源を活かした公共工事を推進する。	建設工事にあたり、環境に配慮した計画・設計及び工事施工に努める。	1計画・設計における環境配慮 2工事施工における環境配慮	別紙様式G1のとおり	◎	上半期において実施設計9件及び工事42件を発注し、環境へ配慮した設計及び施工に努めている。	環境配慮	環境配慮	環境配慮	環境配慮	○	報告対象となる2,000万円以上の事業10件について目標の100%は達成出来なかったが、98.1%とほぼ目標を達成した。			建築課

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち															
環境保全項目		歴史・文化を未来に引き継ぐ															
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
4-1	104	文化財の保存・整備	指定文化財の保存・整備に努めるとともに指定文化財の増加に努める。	文化財の調査・指定・保存・活用・後継者育成	指定文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への登録の推進	文化財及び歴史的建造物の国の文化財原簿への登録を2件以上指定	◎	文化財保護審議会を開催し、文化財の指定について諮問する予定。	文化財の保護	文化財の保護	文化財の保護	文化財の保護	○	・5月に開催した文化財保護審議会において指定候補物件とされた「蔵前の大舩」について、継続して審議する。 ・史跡国分寺跡の整備に向けて公園用地の取得を進めた。 ・史跡上田城跡の保存管理及び整備に向けて保存管理計画等を策定した。 ・指定文化財笠原工業常田館製糸場等の国指定への取り組みを進めた。 ・国宝安楽寺八角三重塔の保存修理事業をおこない、文化財を保護した。	・市の指定文化財としてふさわしい物件の指定に向けて調査を行っていき		文化振興課
4-1	106	環境への負荷の低減に係る啓発事業	歴史・文化を未来に引き継ぐ。地域の歴史・文化・誇りを次世代に伝える。	利用者への環境啓発(掲示)・事務の効率化の推進	「上田市役所地球温暖化防止実行計画」に基づく環境負荷の低減活動のPRと協力を兼ねた啓発(館内掲示)を行う。事務の効率化(納付書の活用)を図る。		◎	5月に啓発文を館内・ホールに掲示 事務の効率化(納付書の活用)の推進 (全体額の3分の1以上を納付書による納付を目標とする)	啓発活動	啓発活動	啓発活動	啓発活動	◎	5月に予定通り、啓発活動を実施した。 金額ベースで7割を超す使用料を納付書による納付で処理した。			市民会館
4-1	107	博物館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①博物館講座ほか左記のとおり ②観覧券・しおり・ポスター・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)	◎	・来館者は、4月～9月までに59,075人であった。 ・講座等も予定どおり実施されている。	来館者数 76,343人 古紙配合率 100% 大豆インク 指定なし	来館者数 68,233人 古紙配合率 100% 大豆インク 指定なし	各種講座、企画展等の開催	歴史・文化的遺産とのふれあいの場を創出する	◎	・企画展、講座、史跡見学会を計画どおりに実施した。 ・入館者は、依然として歴史ブームの中で推移している。			博物館
4-1	109	博物館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①茶道教室ほか左記のとおり ②しおり・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)	◎	・来館者は、4月～9月までに2,834人であった。 ・教室等も予定どおり実施されている。	来館者数 3,763人 古紙配合率 100% 大豆インク 指定なし	来館者数 3,788人 古紙配合率 100% 大豆インク 指定なし	各種教室、企画展等の開催	歴史・文化的遺産とのふれあいの場を創出する	◎	・企画、教室を計画どおりに実施した。 ・入館者は、微増している。			武石ともしび博物館
4-1	110	記念館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出	①美術教室ほか左記のとおり ②しおり・チラシ等の作成に際して古紙配合紙・大豆油インクを使用する。	①来館者数 ②冊子を除く印刷物に古紙配合紙・大豆油インクを使用する(100%)	◎	・来館者は、4月～9月までに23,744人であった。 ・教室等も予定どおり実施されている。	来館者数 43,300人 古紙配合率 100% 大豆インク 指定なし	来館者数 39,535人 古紙配合率 100% 大豆インク 指定なし	各種教室、美術展等の開催	歴史・文化的遺産とのふれあいの場を創出する	◎	・美術教室、展覧会など計画通りに実施した。			山本鼎記念館
4-1	111	信濃国分寺資料館の運営	歴史・文化を未来に引き継ぐ	①歴史・文化的遺産とのふれあいの場の創出 ②環境にやさしい施設運営(リサイクルを推進し廃棄物の減量を図る)	①史跡見学会ほか左記のとおり ②公園の剪定された樹木のチップ化、落ち葉の腐葉土化など	①来館者数 ②リサイクル率100%	◎	・来館者は、4月～9月までに3,780人であった。 ・講座等も予定どおり実施されている。	来館者数 12,374人 リサイクル率 100%	来館者数 10,816人 リサイクル率 100%	来館者数 7,539人 リサイクル率 100%	環境にやさしい施設運営	◎	・史跡公園内の剪定した樹木はすべてチップ化することができた。			信濃国分寺資料館

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすま															
環境保全項目		緑あふれるまちをつくる															
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
4-2	69	公園の建設	緑あふれるまちをつくる	公園の整備を促進する。	① 音楽村周辺公園整備 0.58ha ② 長池公園整備工事 バリアフリー ③ 山王公園整備工事 トイレ水洗化	旧丸子の一人当たり都市公園面積を11.0㎡/人目標とする。	◎	・信州国際音楽村公園整備が6月に完成したので、植栽養生の後、10月に公園の開設予定。 ・長池公園9月にしゅん工	丸子地域 開設済都市公園 面積 22.54ha 一人あたりの都市公園面積 9.39㎡	丸子地域 開設済都市公園 面積 22.54ha 一人あたりの都市公園面積 9.39㎡	公園の整備	公園の整備	◎	・信州国際音楽村公園が完成10月に公園を開設した。 ・山王公園整の水洗化工事が1月にしゅん工した。	管理する施設は、利用頻度の中から適期の工事時期の推測して実施するが、把握しきれない地元の行事などがあり今後、余裕を持った発注に努める。		公園緑地課
4-2	70	花と緑のまちづくり推進事業の実施(1)	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	・花苗配布 120,000本 ①②	・地域自治会等に配布する花苗本数(120,000本)	◎	夏花苗配布は、6月に71,283本配布済、秋花苗配布についても、10月上旬に55千本配布の予定で準備中。	花苗配布 131140本	花苗配布 131480本	花苗配布 127023本	花苗配布 120,000本	◎	10月に実施した花苗配布は、ビオラの苗55,740本で、年間127,023本を配布し、目的、目標を達成できた。			公園緑地課
4-2	71	花と緑のまちづくり推進事業の実施(2)	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	・花の種銀行 口座開設者数750人 ・種から育てる花づくり講習会の開催4回	・花の種銀行会員数(延べ口座開設者750人) ・花づくり講習会 開催回数 年間4回	◎	・花の種銀行の口座開設者は9月末現在で770名(9/20現在)。 ・花づくり講習会は8月に実施しました(5月予定分は雨天中止)。 ・バラづくり講習会は6月に音楽村バラ園で開催しました。	口座開設者数 745 花づくり講習会開催数 3	口座開設者数 740 花づくり講習会開催数 5	口座開設者数 763 花づくり講習会開催数 3	・花の種銀行 口座開設者数750人 ・種から育てる花づくり講習会の開催4回	○	・種から育てる花づくり講習会(基本編・花を知らう!編)を平成24年3月15日に開催しました。 ・花の種銀行の口座開設者は3月末現在で763名(3/26現在)。・・・退会された方の数>新規加入者を上回る状況。	花の種銀行会員の利用率促進		公園緑地課
4-2	72	緑地の保全(染屋台グリーンベルト保全事業)	緑あふれるまちをつくる	緑地の保全	里山整備ボランティア 年7回	市街地近郊の貴重な自然環境を形成している染屋台グリーンベルトを環境保全(地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和)の面から積極的に保全をする必要があることから、上記事業を実施し、市民の理解を深める。	◎	里山整備ボランティアは6月2回、7月2回、8月3回、9月2回の計9回実施。(5月の「楽しく歩こう!染屋台グリーンベルト体験ウォーキング」雨天により中止とした。)	里山整備ボランティア 6回	里山整備ボランティア 12回	里山整備ボランティア 9回	緑地の保全と市民への啓発	○	里山整備ボランティアは9月までで終了。 新年度に向けて、土地所有者と地元自治会、市の3者で「管理協定書」を締結した。	地元自治会と一般市民ボランティアとの協働による里山整備の継続		公園緑地課

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち															
環境保全項目		調和のとれた美しい景観を保つ															
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
4-3	31	ポイ捨て等防止条例に基づく美化活動の推進	調和のとれた美しい景観を保つ	ポイ捨て条例に基づき美化活動を推進します。	環境美化監視員によるパトロール ポイ捨て防止チラシを配布(成人式)	環境美化監視員によるパトロール回数 月3回 ポイ捨て防止啓発チラシの配布 最低1回	◎	環境美化監視員の9月末時点での活動回数は43名合計で693回でした。	環境美化監視員によるパトロール 955回	環境美化監視員によるパトロール 1212回	環境美化監視員によるパトロール 1377回	パトロール及びチラシを配布による美化活動の推進	◎	環境美化監視員の平成23年度の活動回数は43名合計で1377回でした。			生活環境課
4-3	32	ゴミゼロ運動の実施	うるおいやゆとりある都市空間の形成	地域美化活動を推進します	・広報への掲載 ・庁内掲示板への掲載 ・ゴミゼロ運動の実施(県下一斉に年1回)・・・地区別に4回に分けて実施する	参加者人数 10,000人	◎	自治会の活動・市職員によるゴミゼロ運動を予定通り実施しました。参加人数は述べ10,943人となっています。	参加人数 9336人	参加人数 10456人	参加人数 10943人	参加者人数 10,000人	◎	予定通り終了しました。			生活環境課
4-3	42	犬猫の糞尿害対策	うるおいやゆとりある都市空間の形成	犬猫の糞尿害等に対する対策を推進します。	犬猫の正しい飼育方法の周知 自治会による周知・看板設置の協力依頼(随時)	苦情件数 39件以下	◎	広報等による周知を行っています。	苦情件数 43件	苦情件数 46件	苦情件数 60件	苦情件数 39件以下	○	自治会回覧により広報を行いました。飼い主のマナーが守られていないという苦情が多くなっています。			生活環境課
4-3	61	放置自転車の撤去及び処分	環境にやさしい都市基盤・都市施設の整備	上田駅周辺の放置禁止区域における自転車等の駐車をなくします。	放置禁止区域における警告書の貼付	放置自転車撤去件数 年450台以下	◎	平成23年4月～9月までの実績(撤去件数) 219台	放置自転車撤去件数 447台	放置自転車撤去件数 430台	放置自転車撤去件数 381台	放置自転車撤去件数 年450台以下	◎	警告書貼付 2,524件 撤去件数 381件			管理課
4-3	62	歩道のバリアフリー化	調和のとれた美しい景観を保つ	歩道のバリアフリー化を推進します。	・歩道新設 L=3,000m(うち前年度繰越分)L=550m ・繰越分の早期完成を目指し、本年度分の早期発注に心がける。 ・工事の完了実績による。		◎	・前年度繰越分L=550mは完了した ・本年度分5路線 L=1,450mの内、1路線 L=700m発注済 4路線 発注準備中	～H22まで発注実績 19459m 完了実績 19370m 累計 19370m		発注実績 1250m 完了実績 1250m 累計 20620m	歩道新設 L=3,000m(うち前年度繰越分)L=550m	○	L=2,000m目標の内、1,250m		・上田市身体障害者協会及び老人会より、歩道の新設及び既設歩道のバリアフリー化の要望が強い。	土木課
4-3	64	景観形成事業	緑あふれるまちをつくる	生垣設置の補助を行い、緑化の推進を図ります。	・市広報、行政チャンネル等でのPR ・補助件数15件(予定)	・補助金を出した生垣の延長(本年度延長200m)	◎	・申請件数8件 ・生垣総延長97.8m ・交付決定額326,267円	延長 483.8m 累計 2781.3m	延長 264.0m 累計 3045.3m	延長 136.8m 累計 3182.1m	・補助金を出した生垣の延長(本年度延長200m)	△	・申請件数13件 ・生垣総延長136.8m ・交付決定額517,897円 ・広報うた、ホームページでPR	事業についてさらに周知を図る必要がある。		都市計画課
4-3	65	景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	景観形成市民団体等の認定	アダプトシステム協定を取り交わす地域住民団体等の検討	景観形成市民団体数、及びアダプトシステム協定箇所数(各1)	○	・協定締結に向けた地域を検討中。	景観形成団体認定数 0 アダプトシステム協定箇所 4	景観形成団体認定数 0 アダプトシステム協定箇所 0	景観形成団体認定数 0 アダプトシステム協定箇所 1	アダプトシステム協定を取り交わす地域住民団体等の検討し協定に結び付ける	○	・真田地域において1件アダプトシステム協定の締結があった。	地域住民の自主性に委ねるところが多いが、さらに普及するよう取り組んでいきたい。		都市計画課
4-3	66	景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	住民協定の締結を推進し、優れた街なみの形成を図ります。	住民協定締結の誘導に向け地区の検討	認定数(1)	○	・住民協定締結の誘導に向け地区を検討中。	認定数 0	認定数 0	認定数 0	住民協定締結の誘導に向け地区を検討し協定締結につなげる	△	認定数0	一定の地区内で建築物、広告物等の色彩、大きさ等について、住民が自主的にルールを決めていこうする機運が高まってきた地区に対して、協定締結に向け、指導・助言を行いたい。		都市計画課

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち															
環境保全項目		調和のとれた美しい景観を保つ															
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
4-3	67	景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	市民・事業者に対する景観づくりの意識啓発をします。	景観ウォッチングの実施 2回	景観ウォッチングの実施回数(2回)	◎	・10月15日(土)に景観ウォッチングを実施予定。	実施回数 2	実施回数 2	実施回数 2	景観づくりの意識啓発運動	◎	・10月15日(土)「城下町の風情をめぐる」実施。参加者16人 ・3月24日(土)「景観ウォッチング 真田編」実施。参加者33人			都市計画課
4-3	68	景観形成事業	上田市景観計画の策定	良好な景観の形成及び保全を推進するため、上田市景観計画を策定します。	・景観計画策定に対する意見聴取のための住民説明会の開催。 ・景観計画策定専門委員会において素案の決定。 ・景観審議会、都市計画審議会、パブリックコメントにより素案の審議。	今年度の事業の具体的な施策や手段の進捗状況	◎	・7月に意見聴取のための住民説明会を開催。	検討	上田市景観計画の策定	上田市景観計画の策定	上田市景観計画の策定	○	・住民説明会を実施した。 ・景観計画素案を策定した。 ・景観行政団体へ移行した。	景観形成基準について調整がとれていない一部地域について早期解決を図る。		都市計画課

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち															
環境保全項目		環境にやさしい人を育む															
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
5-1	8	地域福祉の調整及び推進に関すること	環境教育の推進	地域内の住民や各種団体に向けた環境啓発等の推進	①毎水曜日のリサイクル回収(ピン・缶)時での啓発。 ②地域協議会における地域(環境)課題に対する対応。 「わがまち魅力アップ応援事業」の受付 ③自治会要望の取りまとめと本庁との調整(環境関連) ④ポスター掲示による啓発 ⑤窓口での転入者等へのゴミ回収等の指導	①リサイクル回収の回数 ②環境活動や啓発の数等	◎	・毎水曜日にリサイクル回収を実施した。 ・窓口に各種ポスターを貼り、来庁者に啓発を行うことが出来た。 ・「わがまち魅力アップ応援事業」においては、今年8事業について実施予定で、関係者に適正な事業実施について説明を行った。 ・センター前道路沿い、駐車場、玄関等のプランターに花を植え、来庁者を迎えている。 ・電気使用量節減のため、グリーンカーテンを作り、冷房温度を30℃に設定した。	啓発活動	啓発活動	啓発活動	啓発活動	◎	・毎水曜日にリサイクル回収を実施した。 ・窓口に各種ポスターを貼り、来庁者に啓発を行うことが出来た。			川西地域自治センター
5-1	20	女性団体の育成・支援や講座の主催	環境教育の推進	環境に対する意識の啓発を図る	1 住民環境啓発 2 エコ料理講座の開催(地産地消や料理法の工夫による廃棄物の抑制) 3 団体の活動の育成・支援	エコ料理講座の満足度90パーセント以上	◎	・6/28上田婦人団体連合会による飯田市メガソーラー見学。 ・「健康美肌料理講座」の開催6/16～7/21全4回 ・6/19市民フェスティバルにて「環境紙芝居」の上演。	100%	100%	啓発活動	啓発活動	◎	・11月から12月にかけて行なわれた「やさしい家庭料理講座」において、地元の旬の食材にこだわった料理講座を開催した。ゴミを出さない料理法を学んだ。			人権男女共同参画課
5-1	35	うえだ環境市民会議に関する事務	パートナーシップの構築	うえだ環境市民会議を開催し、市民、事業者、行政とのパートナーシップにより環境改善活動を推進します	うえだ環境市民会議の開催	環境改善活動への支援・協力活動が円滑にできること	◎	矢出沢川災害復旧工事のため、5/8、5/15矢出沢川の河川清掃は中止となりましたが、蛭沢川・西小前排水路・黄金沢川の清掃は春、秋共に予定通り実施しました。10/23矢出沢川河川清掃は当初予定通り実施する予定です。	駅前清掃3回 うえだ環境市民会議 3回 視察研修 1回 レジ袋削減運動	体験学習(駅前清掃3回) うえだ環境市民会議 6回 視察研修 1回 講演会 1回	運営会議(4回) 10月体験学習(駅前清掃) 10月うえだ環境フェア参加 10月環境視察研修 11月環境講演会 3月学習会	◎	11月～2月企画運営会議(4回) 10月体験学習(駅前清掃) 10月うえだ環境フェア参加 10月環境視察研修 11月環境講演会 3月学習会			生活環境課	
5-1	38	環境教育の推進	環境を思いやる人があふれるまちを目指します	保育園・小学校・中学校及び地域での環境教育・環境学習活動へ支援・協力します	子どもエコクラブの周知及び登録クラブへの支援・協力 子どもエコガイドの配布(小学4年生対象) 保育園・学校・地域への環境教育等の支援・協力		◎	●子どもエコガイド 6月の環境月間に合わせ、市内小学校4年生に子どもエコガイドを配布。学校での環境教育に役立ててもらいました。 ●子どもエコクラブ 本部から配布のあった書類等の確認をするのみで、支援等できていない状況です。 ●保育園、学校、地域への環境教育等の支援・協力講座等の依頼があった場合に対応している状況です。 クラブや保育園・学校・地域への支援協力については、今年度は他の業務が新たに加わったことなどから、こちらからの投げかけをすることができない状況です。	子どもエコクラブ登録数 8 環境教育の資料として子どもエコガイドを市内小学4年生へ配布。	子どもエコクラブ登録数 11 環境教育の資料として子どもエコガイドを市内小学4年生へ配布。出前講座等により環境教育へ協力。	子どもエコクラブ登録数 11 環境教育の資料として子どもエコガイドを市内小学4年生へ配布。出前講座等により環境教育へ協力。	◎	●子どもエコクラブ 本部から配布のあった書類等の確認をするのみで、支援等できていない状況です。 ●保育園、学校、地域への環境教育等の支援・協力講座等の依頼があった場合に対応している状況です。 クラブや保育園・学校・地域への支援協力については、こちらからの投げかけをすることができませんでした。	子どもエコクラブや保育園、学校等への支援		生活環境課	
5-1	50	環境にやさしい保育園づくり	環境教育の推進	保育園での環境教育・環境活動を推進し、環境に対する意識啓発を図る	「ぱっくん」を使い、生ごみを土に還す事を環境教育として推進する。	搬出生ごみの減量 堆肥として菜園等での利用 園児・保護者が興味を示すこと	◎	各保育園・幼稚園で「ぱっくん」を活用して環境教育を行っている。	意識啓発	意識啓発	意識啓発	意識啓発	◎	「ぱっくん」を使い、生ごみを堆肥化するとともに、それを菜園に還すことにより、循環型社会を目指す環境教育を推進した。			保育課
5-1	63	交通安全事業(コロベタ大作戦)	環境にやさしい人を育む	市民協働による歩行エリアのカラー舗装を推進し歩行者の安全対策及びコスト縮減を図る。	・カラー舗装 ・10路線 L=3,000m W=0.7～1.0m	・作業の完了実績による。	◎	・計画路線 10路線中 8路線 L=2,095mを実施した	路線数 16 実績 3140m	路線数 12 実績 4865m	路線数 8 実績 2095m	◎	・13路線 L=2,775mを実施した。(目標値の90%を越えたのでほぼ達成とした。)	・生活道路安全性の観点から賛成意見が大多数を占めた。		土木課	

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち															
環境保全項目		環境にやさしい人を育む															
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
5-1	78		水環境の保全を図る	水環境の保全のための啓発活動を行うと共に、保全活動も行う	住民環境啓発		△	広報誌の紙面削減により、啓発のための記事まで掲載できなかった。下半期のイベント参加、フォーラム開催により、水環境の保全を図る。	環境啓発	環境啓発	環境啓発	環境啓発	◎	・うえた環境フェアに「水環境の中で・水を飲むこと、使うこと」をテーマに出展 ・11月3日「神川の水と環境を守る集い」開催160人参加			経営管理課
5-1	88	環境にやさしい学校づくり事業	環境にやさしい人を育む	学校での環境教育・環境学習活動を推進します	・光熱水費削減の取り組み結果を評価し、環境教育の推進に資するための予算を各学校へ追加配当する。	・光熱水費の削減量 ・学校ISO計画を全小中学校で作成し、実行する	◎	・現在、各学校に「学校ISO計画書」を作成してもらっているが取組自体は年度当初より各学校で実施されている。	環境教育・環境学習活動の推進	環境教育・環境学習活動の推進	環境教育・環境学習活動の推進	学校での環境教育・環境学習活動の推進	◎	・各校、実施計画により環境教育、環境改善活動が実施できた。 ・光熱水費の使用料は毎年減少傾向にある。 ・各校の中間報告、光熱水費等を参考に、環境教育用消耗品の購入費を再配当した。	雨水への放射能汚染を心配して雨水タンクの使用が今年度減少した。		学校教育課
5-1	89	学童農園事業	環境にやさしい人を育む	学校での環境教育・環境学習活動を推進します	・児童による田植えは、協力者、地方事務所の指導による手植え。 ・夏場はあぜ等の草取りを中心に田の管理を行う。 ・収穫は手刈りでを行い、はぜにかけ天日乾燥する。 ・脱穀、わらまき等も児童が主となって行う。 ・収穫祭に協力者を招き、全員で収穫を祝う。	・上田地域小学校(16校)の5年生1,152人 ・平成23年度の耕作面積 18,182㎡(保全農地面積)	◎	・各学校で予定通り田植え、草取り等を行っている。 ・9月前半から10月前半にかけて各校で稲刈りを実施中	環境教育・環境学習活動の推進	環境教育・環境学習活動の推進	環境教育・環境学習活動の推進	学校での環境教育・環境学習活動の推進	◎	・田植えから稲刈りまで比較的順調に実施でき 無事収穫祭を終えることができた。 ・自ら育て、収穫した米を協力者の皆さんと食べることによって、食べ物を得ることの大変さ、重要さを体験することができた。	指導者の高齢化問題 収穫物に対する放射線測定を実施するかどうか。		学校教育課
5-1	90	YAっHOーの発行	環境問題などについて掲載し、子どもや親の意識啓発	環境記事・情報を年1回以上掲載する。	記事・情報として、環境問題などについて掲載し、子どもや親への意識啓発の機会とする。	環境記事・情報を年1回以上掲載する。	◎	予定どおり6月17日に40号(17,000部)を発行。 里山での自然遊び体験教室、やまぼうし自然学校の各種行事、廃棄物対策課の子どもゴミ探検隊の行事をイベント情報として紹介した。	意識啓発	意識啓発	意識啓発	意識啓発	◎	予定どおり10月17日に41号(17,000部)、2月29日に42号(17,000部)を発行。 春の草花をはじめ、自然環境について考えるコラムを掲載するとともに、やまぼうし自然学校の各種行事等をイベント情報として紹介した。			生涯学習課
5-1	91	自然活動体験教室事業	川遊びやキャンプを通じて、身近な自然とのふれあい	自然活動体験事業を年3回実施する。	千曲川、峰の原高原や武石栗栗溪谷等での川遊び、キャンプ、自然体験活動を通じて、市民に身近な自然とのふれあいを体験してもらう。	自然活動体験事業を年3回開催する。	◎	各種教室を予定どおり2回実施できた。 [参加状況] のびのび川遊び体験教室:23育成会、217名 里山での自然遊び体験教室:8育成会、71名	体験活動による意識啓発	体験活動による意識啓発	体験活動による意識啓発	体験活動による意識啓発	◎	ウグイの放流を予定どおり実施できた。 [参加状況] ウグイの放流:10育成会 28名 全事業を予定どおり実施できた。			生涯学習課
5-1	92	地域青少年育成指導者養成講座	子ども向けのレクリエーションや野外体験活動などの指導者を養成する。	ネイチャーゲーム、野外活動全般の講習会等を年4回以上開催する。	ネイチャーゲーム・応急処置・親子レクリエーション・野外活動の講習会、自然・キャンプ体験教室、里山遊び体験教室を開催する。	ネイチャーゲーム、野外活動全般の講習会等を年4回以上開催する。	◎	野外活動全般の講習会を予定どおり4回実施できた。 [参加状況] 延べ101名	体験活動による意識啓発	体験活動による意識啓発	体験活動による意識啓発	体験活動による意識啓発	◎	野外活動全般の講習会を予定どおり4回実施できた。 [参加状況] 延べ101名			生涯学習課
5-1	93	各種講座・里山づくり支援	地域における環境保全活動及び住民への環境啓発の推進	市民の環境に関する意識の啓発を図っていく。	1 環境教室の実施 ・旬の野菜を使った料理教室(年12回) ・自然に親しむ講習会(年4回) ・太郎山自然観察会(年2回)・エネルギーセッション講座(年4回) 2 団体等への支援 ・里山づくり支援事業(年6回)	・すぐに効果は期待できないが、住民の環境に対する意識を高める。	◎	屋外でのイベントが一部震災の影響により順延となったが、ほぼ計画通り進行している。	自然に親しむ講習会 4回 季節に合わせた料理教室 3回 里山づくり支援事業 6回	自然に親しむ講習会 4回 季節に合わせた料理教室 12回 里山づくり支援事業 6回	・太郎山虚空蔵山縦走路トレッキング(2回) ・太郎山虚空蔵山縦走路整備整備(2回) ・太郎山虚空蔵山縦走路整備連絡会山岳講演会(1回) ・自然に親しむ講習会(5回) ・太郎山自然観察会(1回) ・季節に合わせた料理教室(6回)	◎	・太郎山虚空蔵山縦走路トレッキング(2回) ・太郎山虚空蔵山縦走路整備整備(2回) ・太郎山虚空蔵山縦走路整備連絡会山岳講演会(1回) ・自然に親しむ講習会(5回) ・太郎山自然観察会(1回) ・季節に合わせた料理教室(6回)	すぐに、目に見える成果がでる活動ではないが長期に渡るプロジェクトを組んで、目標を達成していく。 とりあえず、次年度は子ども達を対象に里山を学習する講座を新たに開始する予定。		西部公民館	

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち																
環境保全項目		環境にやさしい人を育む																
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課	
									H21	H22	H23							
5-1	94	公民館各種講座事務	環境教育の推進	自然観察をテーマとする講座を開催し、市民の環境問題に対する意識の啓発を図る。	自然観察をテーマとした講座の開設:3講座 「公民館だより」を中心に参加者を募集 その他環境関係に関する講座の開催	開催講座数 参加者の満足度	◎	6月15日 千国街道・塩の道を行く 36名 7月13日 池の平～地蔵峠トレッキング 21名 8月10日 北八ヶ岳・白駒池と高見石 37名 10月19日 旧篠ノ井線廃線跡ウォーキング 30名	意識啓発	意識啓発	意識啓発	意識啓発	◎	6月15日 千国街道・塩の道を行く 36名 7月13日 池の平～地蔵峠トレッキング 21名 8月10日 北八ヶ岳・白駒池と高見石 37名 10月19日 旧篠ノ井線廃線跡ウォーキング 30名 6月29日 家庭でできる効果的な節電講座9名			城南公民館・解放会館	
5-1	95	公民館各種講座事務	環境教育の推進	環境問題に関する講座を開設し、市民の環境に関する意識の啓発を図ります	自然観察講座 4回 野鳥観察講座 2回 水生生物観察講座 1回 工作教室 2回 人生いきいき講座4回	青少年・成人教育で環境に関する講座を開催し、環境に対する意識を高める 目標講座数 延べ13講座 参加者数 200人	◎	各講座をほぼ予定どおり実施しました。受講者数は延べ133人	自然観察3回、野鳥観察1回、人生いきいき講座5回、エコクッキング教室1回の延べ10講座を開催、延べ191人が参加	自然観察2回、野鳥観察1回、人生いきいき講座5回、工作教室1回の延べ9講座を開催、延べ168人が参加	意識啓発	意識啓発	◎	各講座を予定どおり実施しました。人生いきいき講座では、新聞でエコバック作り・ねこ風はんでん作り・鍋保温カバー作りを実施しました。受講者数は延べ98人			上野が丘公民館	
5-1	96	地域デザイン講座①「地域に緑の連続性を」	環境教育の推進	環境問題に関する講座を開催し、市民の環境に対する意識の啓発を図ります。	①「塩田に適した植栽とプロが教える花の育て方～地域に緑の連続性を～」と題し、この土地の気候、風土に適した植栽や緑の連続性ととの関係を知っていただく。 ②自然環境の大切さを知り、地球温暖化防止への第一歩にしてください。 ③里山講座を行う。	①参加者延べ人数 1講座20人@20人*6回 ②参加者の満足度 70% 参加者アンケートの結果から	○	打ち合わせに時間がかかった。内容を緑のオープン講座とした。	意識啓発	意識啓発	意識啓発	意識啓発	◎	10月から翌2月まで7回コースで開催。参加者数約300名。東日本大震災の影響で環境問題に非常に関心が高くなってきた。特に福島から上田に移ってきた有機農業の丹野さんの農業に関心が高く、例年になく講座盛況であった。また公開講座とした。			塩田公民館・解放会館	
5-1	97	「夏休み川遊びin神川」	未来を担う子どもたちに対し環境の大切さを伝える。	清流のすばらしさ、自然環境の大切さを、子どもたちの記憶に残す。	①信州上田千曲川少年団、NPO法人信州いわなの学校等の市民団体と一緒に、 ②塩田平に関係深い千曲川の支流・神川で、遊びながら川に親しむ ③清流のすばらしさ、自然環境の大切さを感じてもらい記憶に残る機会とする。	①参加者延べ人数 1講座30人 ②参加者の満足度 70% 参加者アンケートの結果から	◎	参加者が47人。思ったより大勢の参加があった。千古温泉の協力もあり、川での調査や川遊び、ライフジャケット体験などしたあと温泉に入ることができ、好評だった。蜂に刺された子が出てしまったのは残念だったが、医者で見てもらい健康上の問題はなかった。	参加者 49人	参加者 18人	参加者 47人	子どもたちに環境の大切さを伝える	◎				塩田公民館・解放会館	
5-1	98	「災害発生！夏休みサバイバル訓練！」	未来を担う子どもたちに対し環境の大切さを伝える。	自然環境の大切さを、子どもたちの記憶に残す。	①「災害発生！夏休みサバイバル訓練！」と題し、公民館を避難所と想定し、避難所体験をする。 ②その中で、川等の水から飲み水を確保する訓練を通じ水の大切さを知る。 ③真っ暗な中で手作りランプで過ごし明かりの有難さを感じてもらい地球温暖化防止への一歩とする。	①参加者延べ人数 1講座30人 ②参加者の満足度 70% 参加者アンケートの結果から	◎	計画通り実施した。震災後関心高いかと期待したが、思ったほど参加者は集まらなかった。参加者6名。	参加者 9人	参加者 8人	参加者 6人	子どもたちに環境の大切さを伝える	◎		参加者が減少傾向にある。震災の後で参加者が増えるのではないかと期待したが、思うように参加者が伸びなかった。募集の段階や早めの呼びかけ、内容の洗練など今後考えなくてはいけない。参加者には大変好評だったし、内容も良かったと思う。			塩田公民館・解放会館
5-1	99	しおだっ子 自然観察ツアー「冬の菅平高原でスノーシューハイキング」	未来を担う子どもたちに対し環境の大切さを伝える。	自然の厳しさ、豊かさを知り自然環境の大切さを子どもたちの記憶に残す。	①信州上田千曲川少年団、NPO法人信州いわなの学校等の市民団体と一緒に、 ②千曲川の支流・川の上流、真田菅平高原で、遊びながら川や自然に親しむ ③自然の厳しさ、豊かさを知り、自然環境の大切さを感じてもらい記憶に残る機会とする。	①参加者延べ人数 1講座30人 ②参加者の満足度 70% 参加者アンケートの結果から	◎		参加者 27人	参加者 29人	参加者 0	子どもたちに環境の大切さを伝える	△	日程の調整がつかないことなどから千曲川少年団との共催がうまくできなかった。結果千曲川少年団は実施したが、公民館として協力できなかった。	日程の調整。		塩田公民館・解放会館	

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち																																													
環境保全項目		環境にやさしい人を育む																																													
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課																														
									H21	H22	H23																																				
5-1	100	公民館各種講座事業	環境教育の推進	環境教育の推進を図り、市民の環境に対する意識の啓発を図る。	1住民環境啓発 2 講座実施 ① 里山講座 6回 定員20人 ② 川西子供広場 3回定員なし ③ 夜の自然観察会 1回定員なし ④ 親子自然観察会 1回 定員16人		◎	1 住民環境啓発は実施済み 2 講座実施 ①里山講座 6回中4回を実施済み ②ガーデニング講座 3回中1回実施済み ③川西子供広場 3回中1回を実施済み ④親子自然観察会 実施済み	環境啓発	環境啓発	環境啓発	環境啓発	◎	①里山講座 6回目を実施済み ②ガーデニング講座 6回目を実施済み ③川西子供広場 3回のうち2回を実施済み	計画どおり実施する。		川西公民館																														
5-1	101	環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	啓発活動を通じて環境保全の理解を深める。	6月の環境月間にあわせ小中学校向けに本の紹介、テーマ本展示コーナーに環境関係の本を展示し、市民に啓発する。11月の図書館まつりでは本のリサイクル市などを行い、本の有効利用を図る。		◎	6月の環境月間に合わせ、テーマ本展示コーナーに環境に関する本を展示し、市民に啓発を図った。	環境啓発	環境啓発	環境啓発	環境啓発	◎	10月開催した上田図書館の本のリサイクル市では準備した4101冊のうち持帰り2,563冊で297人の入場者があった。11月に開催の上田創造館では1,464冊の準備冊数のうち持帰り943冊で152人の入場者があった。			上田図書館																														
5-1	102	環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	本の紹介及び展示	環境月間中、テーマ本コーナーに環境関係の図書類の展示を行う。	展示関連本の貸出数・レファレンス数	◎	・環境月間中に環境コーナーを設け、環境関係の本、雑誌、絵本などを展示。 ・新年度購入本「オールシーズンエコ節電の教科書」「流通業のエコ戦略」「エアコンのいらない家」他7冊	環境教育	環境教育	環境教育	環境教育	◎	・環境月間の6月及び8月～10月に、図書館の資料を利用し、来館者の目にふれやすい場所に環境関係の本を展示し関心を高めることができた。 ・年間を通じ環境に関する本の購入を進めた。(「よくわかる再生可能エネルギー」他23冊) ・自然エネルギー上小ネットと共催し、第1回情報交流会を開催した。			上田情報ライブラリー																														
5-1	103	文化芸術振興事業	チラシ・パンフレット印刷に伴う環境配慮	市民の環境に対する意識の啓発	文化芸術振興事業に関するチラシ・パンフレット等印刷物に環境に対する啓発の文言を加える。	チラシ・パンフレット等印刷物に啓発文言の記載 100%	◎	「上田城跡能」のチラシ、パンフレットに再生紙及び大豆インクを使用した。	意識啓発	意識啓発	意識啓発	意識啓発	◎	・チラシ・パンフレット等印刷物に啓発文の記載ができなかったものがあった。 ・会場には、自動車は乗り合わせて来てもらうようにチラシに印刷した。	チラシ・パンフレット等印刷物に啓発文の記載を忘れないようにしたい。		文化振興課																														
5-1	112	各種大会等パンフレットの作成	ごみ減量の促進	大会参加者等と協力して、ゴミの減量に努めます。	各種大会等	大会終了時のゴミ残量	◎	各種大会資料、会議資料等を2in1や両面刷りにするなど削減に努めた。	ごみ減量の促進	ごみ減量の促進	ごみ減量の促進	ごみ減量の促進	◎	各種大会資料、会議資料等を2in1や両面刷りにするなど削減に努めた。	資料等の内容を精査し、印刷数の削減に努める。		体育課																														
5-1	113	自然を守り、環境美化活動	自然を大切に、環境にやさしい人を育む	利用者への環境啓発	1、周辺の森林下草刈で、樹木の活性化。 2、環境美化啓発。 3、利用しやすい施設及び環境づくり。	①利用者数。 ②水道使用量。 ③灯油量削減。	◎	<table border="1"> <tr><td></td><td>平成23年</td></tr> <tr><td>①利用者数</td><td>59,389人</td></tr> <tr><td>②水道使用量</td><td>12,719m³</td></tr> <tr><td>③灯油量</td><td>200ℓ</td></tr> <tr><td>④収入(千円)</td><td>7,974千円</td></tr> </table>		平成23年	①利用者数	59,389人	②水道使用量	12,719m ³	③灯油量	200ℓ	④収入(千円)	7,974千円	啓発活動	啓発活動	啓発活動	啓発活動	◎	<table border="1"> <tr><td></td><td>平成22年</td><td>平成23年</td><td>増減</td></tr> <tr><td>①利用者数</td><td>93576人</td><td>91062人</td><td>2514人減</td></tr> <tr><td>②水道使用量</td><td>28981m³</td><td>23511m³</td><td>5470m³減</td></tr> <tr><td>③灯油量</td><td>943ℓ</td><td>1008ℓ</td><td>65ℓ増</td></tr> <tr><td>④収入(千円)</td><td>12123千円</td><td>11644千円</td><td>479千円減</td></tr> </table>		平成22年	平成23年	増減	①利用者数	93576人	91062人	2514人減	②水道使用量	28981m ³	23511m ³	5470m ³ 減	③灯油量	943ℓ	1008ℓ	65ℓ増	④収入(千円)	12123千円	11644千円	479千円減			自然運動公園管理事務所
	平成23年																																														
①利用者数	59,389人																																														
②水道使用量	12,719m ³																																														
③灯油量	200ℓ																																														
④収入(千円)	7,974千円																																														
	平成22年	平成23年	増減																																												
①利用者数	93576人	91062人	2514人減																																												
②水道使用量	28981m ³	23511m ³	5470m ³ 減																																												
③灯油量	943ℓ	1008ℓ	65ℓ増																																												
④収入(千円)	12123千円	11644千円	479千円減																																												
5-1	114	環境への負荷の低減に係る啓発事業	利用者への環境負荷低減活動の啓発	エコオフィスうた推進活動のPRと啓発を兼ねた館内掲示	地球環境保護意識の高揚と同時に自然運動公園管理施設のランニングコスト削減のため「上田市役所地球温暖化防止実行計画」に基づく環境負荷の低減活動のPRと協力を兼ねた啓発(館内掲示)を行う。	施設利用者数	◎	<table border="1"> <tr><td></td><td>平成23年</td></tr> <tr><td>利用者数</td><td>59,389人</td></tr> </table>		平成23年	利用者数	59,389人	啓発活動	啓発活動	啓発活動	啓発活動	◎	館内掲出済			自然運動公園管理事務所																										
	平成23年																																														
利用者数	59,389人																																														

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち															
環境保全項目		環境にやさしい地域を育む															
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標(どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
5-2	2	自治会関連事務	環境にやさしいまちづくり	自治会定期送達の各課個別配布は、極力広報うえだに掲載し、各戸配布を回覧にしようとする。また、必要回数と配布数を常に把握、周知徹底することによる無駄の排除。	1 月2回の庁内への周知徹底 2 配布数、回覧数の変更報告受付 3 配布数、回覧数の庁内周知徹底	◆無駄を排除した、適正回数・配布数の的確な把握と周知徹底の実施	○	自治会への定期送達文書の増加ペースが速い。(当初計画にない送達文書が19件あり。)引き続き庁内へ抑制を働きかける。	584件	499件	508件	490件	△	平成23年度年間送達件数(実績)508件 ただし、上半期では、当初計画にない文書が19件という増加のペースであったが、下半期ではこれをさらに増やすことなく、抑制できた。	これまで、年度当初計画における「年間送達予定件数」をもとに、送達文書の抑制、削減に努めてきたが、環境保全の指標としてはアバウト過ぎるため、実質的な成果を表すための指標を新たに設定し、計測していく必要がある。		市民参加・協働推進課
5-2	6	地域環境保全活動の推進	自然環境の保全と地域産業との調和	塩田地域における環境啓発の推進	主に塩田地区自治会連合会、塩田地域協議会の活動に連動する中で事業を推進	物的効果がすぐに現れることは、難しいが目標に向けた取組み活動は、記録に残る。	△	・環境衛生講演会の開催ができず未定である。	環境啓発	環境啓発	環境啓発	環境啓発	○	予定通り実施	自治会単位に行っている環境保全活動を把握すること。		塩田地域自治センター
5-2	12		環境啓発の実施	環境啓発の実施	①広報うえだを活用した環境啓発活動 ②市公式HPを活用した環境啓発活動	①啓発記事のページ数 ②環境関連記事へのアクセス数	◎	1 広報うえだを活用した環境啓発活動 ①啓発記事のページ数・・・8ページ 2 市公式HPを活用した環境啓発活動 ①環境関連記事へのアクセス数・・・850アクセス	啓発活動	啓発活動	啓発活動	啓発活動	◎	1 広報うえだを活用した環境啓発活動 ①啓発記事のページ数・・・11ページ 2 市公式HPを活用した環境啓発活動 ①環境関連記事へのアクセス数・・・1670アクセス			秘書課
5-2	36	環境関連情報に関すること(情報の発信)	環境情報システムの整備	環境関連情報を発信します。	・ホームページの作成・更新 ・広報等へ関連記事を掲載 ・各課の通知文書やチラシ等に、環境関連のマーク・文言を加えるよう、機会をとらえて依頼する。	各種機会を捉え、環境について記事をまとめ、大きく広報に載せる。	◎	震災による原子力発電所の事故の影響から、放射線に係る情報や節電・省エネに係る情報を随時掲載しました。	啓発活動	啓発活動	啓発活動	啓発活動	◎	広報やHP、行政チャンネル、有線放送などを利用し環境保全に係る情報を発信することができた。			生活環境課
5-2	40	ISO14001普及啓発	地球環境の保全	ISO14001などの、事業者に対する環境マネジメントシステムに関する情報を提供し、支援します。	うえだ環境ISOネットワーク・長野県環境保全協会上小支部の活動などを通して、企業との情報交換・各種事業の実施	・各イベントの際に協力して実施すること	◎	うえだ環境ISOネットワーク・長野県環境保全協会上小支部との会議等とおし情報交換等を行う中で、うえだ環境フェア等各種イベントについて打ち合わせを行いました。イベントの実施は下半期となります。	企業との情報交換・各種事業の実施	企業との情報交換・各種事業の実施	企業との情報交換・各種事業の実施	企業との情報交換・各種事業の実施による環境保全活動	◎	うえだ環境ISOネットワーク及び長野県環境保全協会上小支部との協力により ・うえだ環境フェア協力、情報提供 ・カレンダー・手帳プレゼント会 ・各種会議の際の情報交換を行った。 カレンダー・手帳プレゼント会では、プレゼント用カレンダー及び手帳がたくさん集まったほか、プレゼント会への来場者も多く、環境への関心の高さがうかがえた。			生活環境課
5-2	41	うえだ環境フェア(消費生活展)の開催	廃棄物の減量と資源再利用の促進	各種団体と協力して、廃棄物の減量と資源再利用の促進に努めます。	うえだ環境フェアの開催 10月15日(土)	①来場者数 1,000人 ②アンケートによる来場者満足度 90%以上	◎	実行委員会の開催、ポスター等の配布	来場者数 1100人 満足度 90.0%	来場者数 1100人 満足度 90.0%	来場者数 950人 満足度 90.0%	①来場者数 1,000人 ②アンケートによる来場者満足度 90%以上	○	天候が悪く、入場者数は減少しましたが、参加団体の催しは好評でした。			生活環境課

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち															
環境保全項目		環境にやさしい地域を育む															
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
5-2	51	「国際規格審査登録事業」助成金	環境にやさしい地域を育む	ISO1400等をはじめとする国際規格の取得に要した経費を助成することで、市内事業者の環境意識の向上を醸成する。	事業者への補助事業制度の周知を事業所訪問で行う。	事業所訪問で説明10件 (制度の主旨・目的)	◎		事業所訪問による補助事業制度の周知	事業所訪問による補助事業制度の周知	事業所訪問による補助事業制度の周知	事業所訪問による補助事業制度の周知	◎				商工課
5-2	105	天然記念物の保護	天然記念物の保護及び生息地の環境保全に努める	天然記念物の保護パトロールの実施及び生息地の環境保全に対する啓発	天然記念物の保護パトロールの実施及び生息地の環境保全に対する啓発	・天然記念物の増加 マダラヤンマ・ミヤマモンキチョウ ミヤマシロチョウ・ベニヒカゲ等 ・食草であるクロマメノキの保護	◎	市指定文化財のマダラヤンマとその生息地の保護パトロールは、地元のボランティアで予定通り実施した。県の天然記念物等の高山蝶も職員により実施した。	天然記念物の乱獲防止が図れた。	天然記念物の乱獲防止が図れた。	天然記念物の乱獲防止が図れた。	天然記念物の保護パトロールの実施及び生息地の環境保全に対する啓発	△	・マダラヤンマの保護パトロールは9月で終了した。多くのに飛翔がみられた。高山蝶パトロールは、天候不順により実施しなかった。	・天然記念物の保護パトロールに加えて、啓発活動も進めていきたい。		文化振興課

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域)

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち															
環境保全項目		環境活動を発信する															
環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
5-3	14	地域映像のデジタル化	地域映像のデジタル化による自然環境保護、歴史・文化資源の保全・活用を啓発する	地域映像のデジタル化による自然環境保護、歴史・文化資源の保全・活用を啓発する	①地域映像をデジタル化しコンテンツ作りをする ②インターネット、地域イントラネット、出前上映会にて地域映像を情報発信する	①地域映像コンテンツ作り 1作品以上 ②HPアクセス数 150,000回以上 ③VODアクセス数 300回以上 ④出前上映会 24回以上	○	①地域映像コンテンツ作り 0作品 ②HPアクセス数 70,081回 ③VODアクセス数 716回 ④出前上映会 11回	啓発活動	啓発活動	啓発活動	啓発活動	◎	①地域映像コンテンツ作り 2作品 ②HPアクセス数 202,527回 ③VODアクセス数 1,342回 ④出前上映会 31回			マルチメディア情報センター
5-3	15	太陽光発電による環境への配慮	太陽光発電による環境への配慮を来館者に周知する	太陽光発電により有害物質を排出しないクリーンなエネルギーが供給できることを来館者に周知する	当センターにある太陽光発電の存在をパネルにより来館者にPRし、太陽光発電では有害物質を排出しないクリーンなエネルギーが供給できることを周知し、環境への配慮を啓発する	①来館者数 36,000人以上 ②社会科見学 10校以上	○	①来館者数 17,587人 ②社会科見学 3校	環境配慮	環境配慮	環境配慮	環境配慮	○	①来館者数 36,594人 ②社会科見学 10校			マルチメディア情報センター
5-3	77	庁用汎用封筒に係る封筒印刷業務	4 環境情報システムの整備	57 環境関連情報を発信し、グリーン購入の推進と啓発を図る。	会計課印刷による市役所使用封筒に、「再生紙使用」と、「チャレンジ25」のロゴを入れ、市職員の意識の啓発を図ると同時に、上田市の取り組みを広く市民にアピールする。	各種封筒等の必要印刷枚数を一定の指標とする。	◎	*10月以降印刷する予定	環境啓発	環境啓発	環境啓発	環境啓発	◎	庁用汎用封筒の印刷実績 角2 100,000 枚 長3(後納) 110,000 枚 * 厳格な在庫管理により印刷枚数の削減を図ることができた。			会計課

平成23年度 環境目的及び目標 一覧表(上田地域 独自目標)

環境基本計画	No.	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	効果を計る指標 (どの水準まで)	上半期	上半期の進捗状況	実績			H23目標	評価	平成23年度 総括	改善すべき課題	市民等からの意見	担当課
									H21	H22	H23						
独	11	第二次上田市行財政改革大綱及びアクション・プランの策定	市民協働と成果及びコストを重視した効率的・効果的な行政経営を進める。	平成24年度から実施するために、平成23年度内に策定する。	・第二次上田市行財政改革大綱を策定する。 ・大綱の具体的な改革項目として「アクション・プラン」を策定する。	策定後は、市民に公表した上で改革に取り組むとともに、進捗状況についても公表する。	◎	行革大綱策定のため、行財政改革推進委員会を8回開催し、検討を進めている。	策定	策定	策定	策定後は、市民に公表した上で改革に取り組むとともに、進捗状況についても公表する。	○	・事務的には終了。 ・平成24年4月26日開催の部長会議において、「策定」が承認される予定。	策定後は、全市的な取組項目であるアクションプログラムの進捗管理を実施するとともに、新たな課題へ対応していく。		行政改革推進室
独	48	第5期高齢者福祉総合計画の策定	第5期高齢者福祉総合計画(平成24年度から3か年)策定に際し、環境保全・環境負荷軽減を図る取組み事項を設定する。	運動を通じた介護予防、介護用品購入に対しエコ商品勸奨、環境にやさしい住環境の整備などを計画項目に設ける。	・介護保険運営協議会に計画策定を図り、12月に報告書を提出。3月市議会において条例改正を提案する。		◎	計画策定にあたり、市民調査及び関係機関への調査を行いニーズ把握を行う。計画策定は当初予定通りとなっている。今後施策体系に環境目標を結びつける取り組みを盛り込みたい。	高齢者福祉総合計画は3か年ごとの見直しをしている。前回は平成20年度に計画を策定する。		策定	第5期高齢者福祉総合計画(平成24年度から3か年)策定に際し、環境保全・環境負荷軽減を図る取組み事項を設定	◎	介護保険運営協議会、市民調査、事業者調査などを通じ計画を策定、3月市議会において条例改正が可決され、予定どおりの進捗が図れた。可能な限り住み慣れた地域での生活が継続できる「地域包括ケアシステム」の構築、住環境の整備、介護予防などを重点目標に掲げました。		高齢者介護課	
独	115	長野県議会議員一般選挙等執行事務	環境に配慮した選挙の執行	開票事務の効率化	長野県議会議員一般選挙(4月10日執行)	開票時間 投票率 ※投票率の向上が目標となるため、単純な開票時間の短縮ではなく、単位時間当たりの開票処理速度を効率化の指標とする。		長野県議会議員一般選挙 今回 投票率(開票時間A) 投票総数(B) 事務時間(C) (B)/(A)×(C) 55.21% 90分 70,502人 205人 3.82 前回 投票率(開票時間A) 投票総数(B) 事務時間(C) (B)/(A)×(C) 47.32% 70分 60,847人 191 4.55 投票率は大幅に上がったが、開票事務の効率は低下した(実施時期が確定している事務であり、上欄の評価に馴染まないため○は付けていない)	事務の効率化	事務の効率化	事務の効率化	事務の効率化	当該事業は上半期に終了しているため特記事項なし。	開票作業の最終段階にボトルネックがあるため、全体の流れを止めないよう人の配置を改める。		選挙管理委員会事務局	
独	116	各監査、審査及び検査の実施	環境に配慮した事務事業の改善	監査等の際に事務事業の改善を指導	・例月現金出納検査(毎月) ・定期財務監査(5月～10月) ・決算審査、財政健全化判断比率等の審査(4月～8月) ・行政監査(10月～2月) ・財政援助団等監査(9月～2月)		◎	監査方針に基づき、概ね順調に各種監査等を実施している。 ・例月現金出納検査(毎月) ・定期財務監査(10/12・13に講評実施) ・決算審査・健全化比率審査(8/23意見書提出) ・行政監査(テーマを選定中) ・財政援助団体等監査(実施通知済)	事務事業の改善	事務事業の改善	事務事業の改善	事務事業の改善	◎	監査方針に基づき、各監査等が実施できた。 ・例月現金出納検査(毎月) ・定期財務監査(10/12・13講評 10/18報告) ・決算審査・健全化比率審査(8/23意見書提出) ・行政監査(2/15講評 2/22報告) ・財政援助団体等監査(2/15講評 2/22報告)		監査委員事務局	